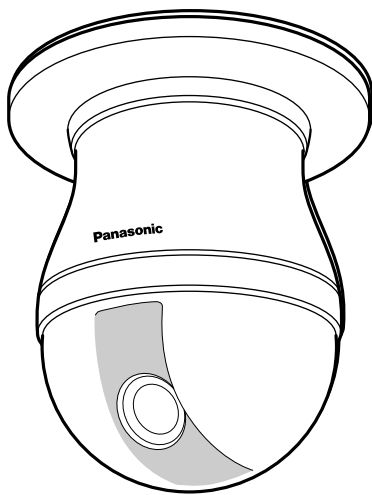


# Panasonic®

## 取扱説明書 設定編

ネットワークカメラ

品番 DG-NS950  
DG-NW960



DG-NS950



DG-NW960



# はじめに

## 取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書（PDFファイル）、操作編（PDFファイル）と基本編の3部構成になっています。本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピュータ（以下、PC）から本機※を設定する方法について説明しています。

- ・ DG-NS950 ネットワークカメラ（屋内用）
- ・ DG-NW960 ネットワークカメラ（屋外用）

※本書中の画面は、DG-NS950を使用しています。

本機の設置のしかたおよびネットワーク機器との接続方法については、取扱説明書 基本編をお読みください。PDFマニュアルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

## 商標および登録商標について

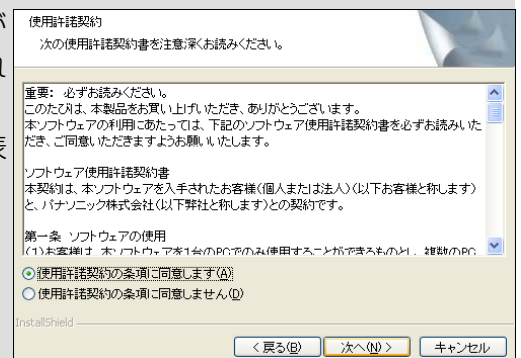
- Microsoft、Windows、Windows Vista、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「i-mode」ロゴおよび「iモード」は、NTTドコモの登録商標または商標です。
- SDロゴは商標です。
- miniSDロゴは商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 表示用プラグインソフトウェアについて

- 本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROM内の「nwcvc3setup.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

### !!重要!!

- お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」が「許可する」に設定されています。情報バーにメッセージが表示される場合は、93ページをお読みください。
- 最初にPCから本機のライブ画ページを表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。



- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、設定メニューの「バージョンアップ」タブで確認できます（※79ページ）。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

# もくじ

## はじめに

取扱説明書について .....	2
商標および登録商標について .....	2
表示用プラグインソフトウェアについて.....	2

## 設定

<b>PCから設定する .....</b>	<b>5</b>
表示のしかた .....	5
操作のしかた .....	6
設定メニューの画面について .....	7
<b>本機の基本設定 .....</b>	<b>8</b>
基本設定を行う [基本] .....	8
NTPサーバーを設定する [NTP] .....	11
SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード] .....	12
SDメモリーカード内の画像をPCに保存する .....	16
ログリストを設定する [ログ] .....	17
アラームのログと画像の保存関係について .....	18
手動保存のログと画像の保存関係について .....	19
FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について .....	20
<b>画像・カメラ動作・音声に関する設定 .....</b>	<b>21</b>
JPEG画像を設定する [JPEG/MPEG-4] .....	21
MPEG-4画像を設定する [JPEG/MPEG-4] .....	22
カメラの名称や動作を設定する [カメラ動作] .....	25
画質/ポジションを設定する [画質/ポジション] .....	28
画質の調整を行う (画質調整画面) .....	29
マスクエリアを設定する .....	32
プリセットポジションを設定する (プリセットポジション設定画面) ..	34
プリセットポジションを登録する .....	37
登録済みプリセットポジションの設定を変更する .....	37
オートパンを設定する (オートパン設定画面) .....	38
パトロール機能を設定する (パトロール機能設定画面) .....	40
プライバシーゾーンを設定する (プライバシーゾーン設定画面) .....	42
音声を設定する [音声] .....	45
<b>マルチスクリーンの設定 .....</b>	<b>48</b>
<b>アラームの設定 .....</b>	<b>49</b>
アラーム動作を設定する [アラーム] .....	49
アラーム連動動作を設定する [アラーム] .....	50
アラーム画像を設定する [アラーム] .....	52
アラーム出力端子を設定する [アラーム] .....	54
AUX名称を変更する [アラーム] .....	55
VMDを設定する [VMDエリア] .....	56
VMD検出エリアを設定する .....	57
メール通知を設定する [通知] .....	59

独自アラーム通知を設定する [通知]	61
<b>認証設定</b>	<b>63</b>
ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]	63
ホスト認証を設定する [ホスト認証]	64
<b>サーバーの設定</b>	<b>66</b>
メールサーバーを設定する [メール]	66
FTPサーバーを設定する [FTP]	67
<b>ネットワークの設定</b>	<b>68</b>
ネットワークを設定する [ネットワーク]	68
DDNSを設定する [DDNS]	71
SNMPを設定する [SNMP]	72
FTP定期送信を設定する [FTP定期]	73
FTP定期送信スケジュールを設定する	75
<b>スケジュールの設定</b>	<b>76</b>
スケジュールを設定する [スケジュール]	76
スケジュールの設定方法	77
<b>メンテナンス</b>	<b>78</b>
システムログを確認する [システムログ]	78
ソフトウェアをバージョンアップする [バージョンアップ]	79
ソフトウェアのバージョンアップ方法	80
本機を初期化・再起動する [初期化]	81
<b>ネットワークセキュリティ</b>	<b>82</b>
本機に装備しているセキュリティ機能	82
<b>ヘルプを見る</b>	<b>83</b>
ヘルプ画面を表示する	83

## その他

<b>システムログ表示について</b>	<b>84</b>
SMTPに関するエラー表示	84
FTPに関するエラー表示	84
DDNSに関するエラー表示	85
NTPに関するエラー表示	85
ログインに関する表示	85
<b>故障かな!?</b>	<b>86</b>
Windows® XP Service Pack2をインストールしてお使いになる場合	93
<b>Bドライブのディレクトリー構造について</b>	<b>95</b>
<b>ルーターの設定例</b>	<b>96</b>
<b>用語集</b>	<b>97</b>

# PCから設定する

PCから設定メニューを表示してカメラまたはソフトウェアの各種機能を設定します。

## !!重要!!

- 設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、64ページをお読みください。

## 表示のしかた

- 1 ライブ画ページを表示する  
(取扱説明書『操作編』)

- 2 ライブ画ページの【設定】ボタンをクリックする
  - ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。



- 3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、【OK】ボタンをクリックする
  - 設定メニューが表示されます。



- 4 操作する
  - 設定メニューの操作については、7ページをお読みください。



# PCから設定する（つづき）

## 操作のしかた

- 1 画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示する
  - ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。
- 2 設定ページ（[P.8](#)～[P.77](#)ページ）の各項目を入力する
- 3 入力終了したら【設定】ボタンをクリックして、入力内容を確定する



### メモ

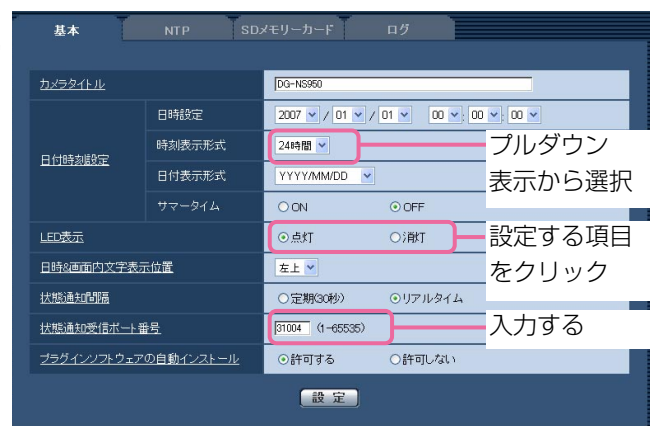
- 【設定】、【登録】ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに【設定】、【登録】ボタンを必ずクリックしてください。



- 本機の設定項目は、「プルダウン」表示から選択する、「チェックボタン」をクリックする、「入力欄」に入力するのいずれかで設定します。各項目の「初期設定」は「下線」で表します。

（下線部は初期設定です）

③	【時刻表示形式】	時刻の表示方法を選択します。【日時設定】 ください。日付時刻を表示しない場合は、 <u>24時間</u> 時刻を24時間形式で表示します。 12時間 時刻を12時間形式で表示します。 :
⑥	【LED表示】	以下のLEDを点灯するかどうかを設定します。 動作状態をLEDで確認する場合は、 <u>点灯</u> LEDを点灯します。 :
⑨	【状態通知受信ポート番号】	「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定 している場合は、状態を通知する通知先の <u>31004</u> 設定可能範囲：1～65535



# PCから設定する（つづき）

## 設定メニューの画面について



項番	項目	内容
①	[ライブ画] ボタン (☞取扱説明書 『操作編』)	ライブ画ページを表示します。
②	[基本設定] ボタン (☞8ページ)	基本設定ページを表示します。カメラタイトル、日時などの基本設定や、NTPサーバー、SDメモリーカードに関する情報を設定します。
③	[カメラ設定] ボタン (☞21ページ)	カメラ設定ページを表示します。JPEG/MPEG-4画像の画質・解像度・動作などカメラに関する情報を設定します。
④	[マルチスクリーン設定] ボタン (☞48ページ)	マルチスクリーン設定ページを表示します。マルチスクリーンで表示するカメラを最大16台まで登録できます。
⑤	[アラーム設定] ボタン (☞49ページ)	アラーム設定ページを表示します。アラーム発生時の動作、VMDエリア、アラーム通知先に関する情報を設定します。
⑥	[認証設定] ボタン (☞63ページ)	認証設定ページを表示します。本機にアクセスするユーザー、PCの認証を登録します。
⑦	[サーバー設定] ボタン (☞66ページ)	サーバー設定ページを表示します。本機がアクセスするメールサーバーとFTPサーバーに関する情報を設定します。
⑧	[ネットワーク設定] ボタン (☞68ページ)	ネットワーク設定ページを表示します。本機のネットワークに関する情報を設定します。
⑨	[スケジュール設定] ボタン (☞76ページ)	スケジュール設定ページを表示します。アラーム入力許可やVMD検出許可などを行うスケジュールを設定します。
⑩	[メンテナンス] ボタン (☞78ページ)	メンテナンス設定ページを表示します。システムログ表示、ソフトウェアバージョンアップ、初期化を実行します。
⑪	[ヘルプ] ボタン (☞83ページ)	ヘルプページを表示します。
⑫	ステータス表示部	現在設定しているカメラタイトルを表示します。
⑬	設定ページ	各設定メニューのページを表示します。表示する機能によって、複数のタブで構成しているページがあります。下線がついている項目をクリックすると、該当のヘルプページが表示されます。



# 本機の基本設定

基本設定ページでは、本機の名称、時刻設定、NTPサーバおよびSDメモリーカードに関する情報を設定します。基本設定ページは、[基本] タブ、[NTP] タブ、[SDメモリーカード] タブ、[ログ] タブで構成されています。

## 基本設定を行う [基本]

基本設定ページの [基本] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)

ここでは、本機の名称および日時などの基本的な情報を設定します。



(下線部は初期設定です)

(1/3)

項番	項目	内容	
①	[カメラタイトル]	本機の名称を入力します。[設定] ボタンをクリックすると、入力した名称をステータス表示部に表示します。	
	<u>DG-NS950</u>	入力可能文字数：0～20文字 (DG-NW960の場合は、 <u>DG-NW960</u> )	
②	[日時設定]	現在の日付時刻を入力します。[時刻表示形式] で「12時間」を選択した場合は、「AM/PM」を選択します。2036年以降は、日付時刻が表示されなくなります。 設定可能範囲：2007/01/01 0:00:00 ~ 2035/12/31 23:59:59	
	[時刻表示形式]	時刻の表示方法を選択します。[日時設定] は、この設定にあわせて選択してください。日付時刻を表示しない場合は、「OFF」に設定してください。	
③	<u>24時間</u>	時刻を24時間形式で表示します。	
	12時間	時刻を12時間形式で表示します。	
	OFF	日付時刻を表示しません。	
	④	[日付表示形式]	日付の表示形式を選択します。[日時設定] を「2007年4月1日 13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は以下のとおりです。
		<u>DD/MM/YYYY</u>	01/04/2007 13:10:00
MM/DD/YYYY		04/01/2007 13:10:00	
DD/Mmm/YYYY		01/Apr/2007 13:10:00	
<u>YYYY/MM/DD</u>		2007/04/01 13:10:00	
Mmm/DD/YYYY	Apr/01/2007 13:10:00		



# 本機の基本設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（2/3）

項番	項目	内容
⑤	[サマータイム]	サマータイムを使用するかどうかを設定します。サマータイムを使用する地域でご使用ください。
	ON	サマータイムを使用します。時刻表示に「*」を表示します。
	OFF	サマータイムを解除します。
⑥	[LED表示]	以下のLEDを点灯するかどうかを設定します。動作状態をLEDで確認する場合は、「点灯」を選択します。  <hr/> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リンクLED [橙色] : 接続機器と通信可能になると点灯します。</li> <li>●アクセスLED [黄色] : ネットワークにアクセスすると点灯します。</li> <li>●SDメモリーカードエラーLED [赤色] : SDメモリーカードに保存できないときに点灯します。</li> <li>●電源LED [緑色] : 電源がONのときに点灯します。</li> </ul> <hr/>
	点灯	LEDを点灯します。
	消灯	LEDを消灯します。
⑦	[日時&画面内文字表示位置]	ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示する文字の位置を設定します。
	左上	画像内の左上に表示します。
	左下	画像内の左下に表示します。
	右上	画像内の右上に表示します。
	右下	画像内の右下に表示します。
⑧	[状態通知間隔]	本機の状態を通知する間隔を選択します。 状態に変化があったときは、ライブ画ページに [アラーム発生通知] ボタン、 [受話] ボタン、 [送話] ボタン、 [AUX] ボタン、 [SD保存状態表示] ボタンを表示してお知らせします。  <hr/> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ご利用のネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。</li> </ul> <hr/>
	定期（30秒）	30秒ごとに状態を通知します。
	リアルタイム	状態に変化があると通知します。
⑨	[状態通知受信ポート番号]	「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合は、状態を通知する通知先の受信ポート番号を入力します。
	31004	設定可能範囲：1～65535

## 本機の基本設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

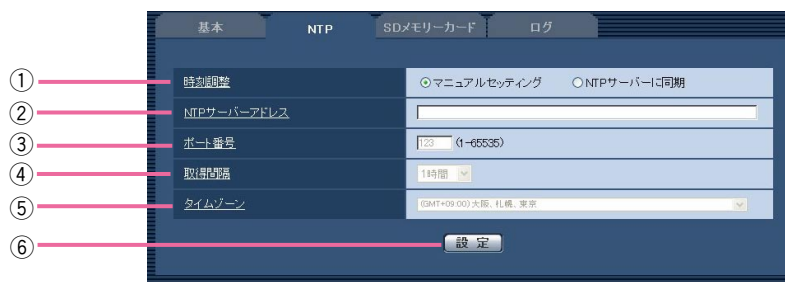
（3/3）

項番	項目	内容
⑩	[プラグインソフトウェアの自動インストール]	表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールするかどうかを設定します。  <b>//重要//</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● PCで画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」をインストールする必要があります。</li><li>● プラグインソフトウェアのインストール数は、メンテナンスページの[バージョンアップ] タブで確認できます。（☞79ページ）</li></ul>
	<u>許可する</u>	表示用プラグインソフトウェアを本機からPCへ自動的にインストールします。
	許可しない	表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールできません。
⑪	[設定] ボタン	設定／変更をした場合は、必ずクリックします。

## NTPサーバーを設定する [NTP]

基本設定ページの [NTP] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する情報を設定します。



（下線部は初期設定です）

項番	項目	内容
①	[時刻調整]	時刻を調整するときに、マニュアルセッティングを基準にするかNTPサーバーに同期させるかを設定します。
	<u>マニュアルセッティング</u>	基本設定ページの [基本] タブで設定した時刻を基準にします。
	<u>NTPサーバーに同期</u>	NTPサーバーから取得した時刻を基準にします。
②	[NTPサーバーアドレス] ※	NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。 入力可能文字数：1～128文字（半角英数字）  <b>!!重要!!</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サーバーのホスト名を入力した場合は、ネットワーク設定ページの [ネットワーク] タブでDNSを設定する必要があります（☞68ページ）。</li> <li>ドメイン名は半角英数字で入力してください。</li> </ul>
③	[ポート番号] ※	NTPサーバーのポート番号を入力します。
	<u>123</u>	入力可能範囲：1～65535
④	[取得間隔] ※	NTPサーバーから時刻を取得する間隔を選択します。
	<u>1時間</u>	1～24時間で1時間単位
⑤	[タイムゾーン] ※	ご使用の地域に応じたタイムゾーンを選択します。
	<u>(GMT+09:00)</u> 大阪、札幌、東京	
⑥	[設定] ボタン	設定／変更をした場合は、必ずクリックします。

※ [時刻調整] が「NTPサーバーに同期」の場合に設定します。

## SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード]

基本設定ページの [SDメモリーカード] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）  
ここでは、SDメモリーカード（DG-NW960は、miniSDメモリーカード）に関する情報を設定します。



（下線部は初期設定です）

(1/3)

項番	項目	内容
①	[SDメモリーカードの使用]	<p>SDメモリーカードを使用するかどうかを設定します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>!!重要!!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機からSDメモリーカードを取り外すときは、必ず「使用しない」に設定してからSDメモリーカードを取り外してください。</li> <li>● SDメモリーカードを取り付けたあとは、「使用する」に設定してください。</li> <li>● SDメモリーカードに保存された画像を再生またはダウンロードするときは、[ログ] タブ（☞17ページ）で「ログ保存」を「ON」に設定してください。</li> <li>● 画像更新速度の設定が高く、複数のユーザーが画像配信している場合、通知や保存のタイミングがずれることがあります（☞52ページ）。その場合は、画像更新速度の設定を低くしてください。</li> <li>● SDメモリーカードは書き換え回数に限度がある部品です。書き換え頻度が多い場合は、寿命が短くなる場合があります。</li> </ul> </div>
	使用する	SDメモリーカードを使用します。
	使用しない	SDメモリーカードを使用しません。

# 本機の基本設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（2/3）

項番	項目	内容
②	[SDメモリーカード残容量通知]	<p>メール通知機能および独自アラーム通知機能を使用してSDメモリーカードの残容量を通知する場合に、空き容量が何%の時点で通知を開始するかを以下から選択します。</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SDメモリーカード残容量通知は、設定した値以下の残容量値ごとに通知します。 例えば、「50 %」に設定した場合、残容量が50 %、20 %、10 %、5 %、2 %になったときにそれぞれ通知します。ご利用のネットワーク環境によっては、通知するタイミングがずれることがあります。</li> </ul> <hr/>
	<u>50 %</u>	選択容量：50 % / 20 % / 10 % / 5 % / 2 %
③	[保存モード]	<p>SDメモリーカードへ画像を保存する方法を選択します。</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FTP定期送信機能を使用する場合、およびアラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信する場合は、「FTP定期送信エラー時」に設定してください。</li> <li>DHCP機能（☞68ページ）を「ON」にすると、本機にIPアドレスを設定するまでの間、「保存モード」の設定に関わらず画像をSDメモリーカードに保存できません。</li> </ul> <hr/>
	<u>FTP定期送信エラー時</u>	FTPサーバーへの定期送信を失敗したときに画像を保存します。
	<u>アラーム発生時</u>	アラームが発生したときに画像を保存します。
	<u>手動保存</u>	画像を手動で保存します。（☞取扱説明書 『操作編』）
④	[上書き]	<p>SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。 「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ設定できます。</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「保存モード」の設定によって、上書きの設定が以下のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>FTP定期送信エラー時：上書きされません。</li> <li>アラーム発生時：上書きして保存されます。</li> <li>手動保存：「上書き」で上書きあり / 上書きなしを設定できます。</li> </ul> </li> </ul> <hr/>
	<u>上書きあり</u>	古い画像から上書きして繰り返し保存します。
	<u>上書きなし</u>	SDメモリーカードへの保存を停止します。

# 本機の基本設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（3/3）

項番	項目	内容
⑤	[ファイル名]	SDメモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存するときのファイル名は、「入力したファイル名+日時（年月日時分秒）+連続番号」になります。 入力可能文字数：1～8文字  <hr/> <b>メモ</b> ● [保存モード] を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合は、ネットワーク設定ページの [FTP定期] タブで設定したファイル名で保存します。 <hr/>
⑥	[保存間隔]	アラーム発生時・手動保存時に、SDメモリーカードへ画像を保存するときの間隔を以下から選択します。
	<u>1 fps</u>	0.1 fps / 0.2 fps / 0.33 fps / 0.5 fps / 1 fps
⑦	[保存枚数]	アラーム発生時に、SDメモリーカードへ保存するアラーム画像の枚数を以下から選択します。
	<u>100枚</u>	10枚 / 20枚 / 30枚 / 50枚 / 100枚 / 200枚 / 300枚 / 500枚 / 1000枚 / 2000枚 / 3000枚 / 5000枚
⑧	[解像度]	手動保存時にSDメモリーカードへ保存する画像の解像度をQVGA/VGAのどちらかに設定します。  <hr/> <b>メモ</b> ● [保存モード] を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合は、[FTP定期] タブで設定した解像度で保存します。 ● [保存モード] を「アラーム発生時」に設定している場合は、[アラーム] タブのアラーム画像設定で設定した解像度で保存します。 <hr/>
	<u>VGA</u>	選択解像度：QVGA/VGA
⑨	[設定] ボタン	設定/変更をした場合は、必ずクリックします。
⑩	[SDメモリーカード]	SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。 SDメモリーカードの状態によって、次のように表示する場合があります。 ● 「-----KB/-----KB」 SDメモリーカードを挿入していない、または読み取りエラーによりサイズが取得できない。 ● 「*****KB/*****KB」 SDメモリーカードがフォーマットされていない、またはロックされている。
⑪	[フォーマット]	SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

# 本機の基本設定（つづき）

## メモ

### フォーマットについて

- フォーマットを実行する前に、[SDメモリーカード] を「使用する」（☞12ページ）、[定期送信設定] を「OFF」（☞73ページ）に設定してください。
- SDメモリーカードのフォーマットは、必ず [SDメモリーカード] タブでフォーマットしてください。  
[SDメモリーカード] タブ以外でフォーマットした場合、以下の機能が正常に動作しないことがあります。
  - ・ FTP定期送信に失敗した画像の保存／取得
  - ・ アラーム発生時の画像の保存／取得
  - ・ 手動保存時の画像の保存／取得
  - ・ アラームログ、手動保存ログ、FTP定期送信エラーログ、システムログの保存／取得
  - ・ 弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使った画像の保存／取得
  - ・ SDメモリーカード内の画像の再生／ダウンロード
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存していたデータをすべて消去します。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。
- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリーを作成するため、残容量は総容量よりも少なく表示されます。
- 動作確認済みSDメモリーカード\*（DG-NW960はminiSDメモリーカード）  
パナソニック株式会社製（64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB）  
※SDHCメモリーカードには対応しておりません。
- SDメモリーカードは購入時の状態が、SD規格準拠でフォーマットされているものをご使用ください。

## SDメモリーカード保存枚数の目安

### !!重要!!

- 下記の表の保存枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。保存できる枚数は、被写体により変わります。

### 解像度：VGA

SDメモリーカードの容量	画 質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
2 GB	約10 000枚	約14 000枚	約16 000枚	約18 000枚	約20 000枚	約22 000枚	約26 000枚	約28 000枚	約30 000枚	約32 000枚
1 GB	約5 000枚	約7 000枚	約8 000枚	約9 000枚	約10 000枚	約11 000枚	約13 000枚	約14 000枚	約15 000枚	約16 000枚
512 MB	約2 500枚	約3 500枚	約4 000枚	約4 500枚	約5 000枚	約5 500枚	約6 500枚	約7 000枚	約7 500枚	約8 000枚
256 MB	約1 250枚	約1 750枚	約2 000枚	約2 250枚	約2 500枚	約2 750枚	約3 250枚	約3 500枚	約3 750枚	約4 000枚
128 MB	約625枚	約875枚	約1 000枚	約1 125枚	約1 250枚	約1 375枚	約1 625枚	約1 750枚	約1 875枚	約2 000枚
64 MB	約312枚	約437枚	約500枚	約562枚	約625枚	約687枚	約812枚	約875枚	約937枚	約1 000枚

### 解像度：QVGA

SDメモリーカードの容量	画 質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
2 GB	約24 000枚	約26 000枚	約27 000枚	約28 000枚	約30 000枚	約32 000枚	約36 000枚	約38 000枚	約40 000枚	約42 000枚
1 GB	約12 000枚	約13 000枚	約13 500枚	約14 000枚	約15 000枚	約16 000枚	約18 000枚	約19 000枚	約20 000枚	約21 000枚
512 MB	約6 000枚	約6 500枚	約6 750枚	約7 000枚	約7 500枚	約8 000枚	約9 000枚	約9 500枚	約10 000枚	約10 500枚
256 MB	約3 000枚	約3 250枚	約3 375枚	約3 500枚	約3 750枚	約4 000枚	約4 500枚	約4 750枚	約5 000枚	約5 250枚
128 MB	約1 500枚	約1 625枚	約1 687枚	約1 750枚	約1 875枚	約2 000枚	約2 250枚	約2 375枚	約2 500枚	約2 625枚
64 MB	約750枚	約812枚	約843枚	約875枚	約937枚	約1 000枚	約1 125枚	約1 187枚	約1 250枚	約1 312枚



# SDメモリーカード内の画像をPCに保存する

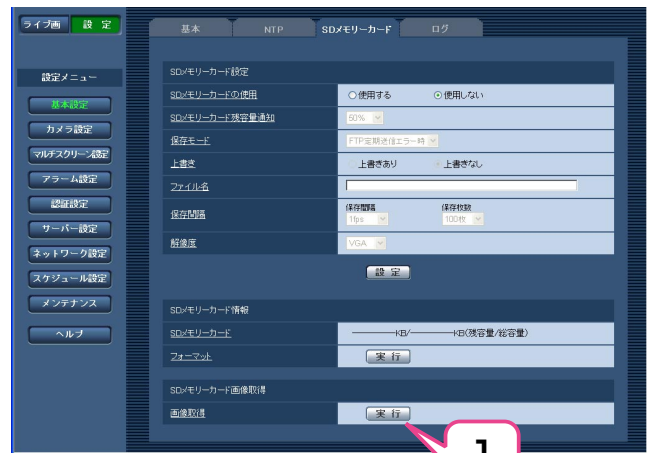
基本設定ページの [SDメモリーカード] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)  
ここでは、SDメモリーカードに保存した画像をPCに保存する方法を説明します。あらかじめ、「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。(☞69ページ)

### !!重要!!

- 他のユーザーが画像取得を実行しているときは操作できないことがあります。しばらく待ってから画像取得を実行してください。
- インターネット経由で画像取得を行う場合、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、画像取得の操作ができないことがあります。その場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 1 【画像取得】の【実行】ボタンをクリックする

- ユーザー認証画面が表示されます。

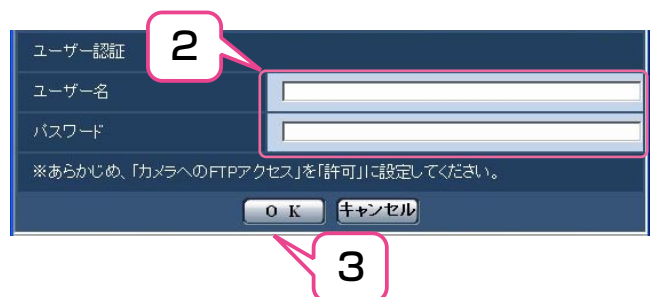


## 2 ユーザー名とパスワードを入力する

## 3 【OK】ボタンをクリックする

- SDメモリーカード内の画像を保存したフォルダが表示されます。
- 取得する画像またはフォルダをPCに保存します。ここで表示された画面内に画像ファイルは表示できません。PCに保存してから表示してください。

### ●ユーザー認証画面



### メモ

- 画像取得の操作で本機にログインすると、最初にBドライブを表示します。Bドライブでは、保存モードに応じたディレクトリー内に画像が保存されています。それぞれのディレクトリーに移動して画像を保存してください。ディレクトリー構造について詳しくは、95ページをお読みください。

## ログリストを設定する [ログ]

基本設定ページの [ログ] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、ログリストに関する情報を設定します。



（下線部は初期設定です）

項番	項目	内容
① ③ ⑤	[ログ保存]	アラームログリストに、ログを保存するかどうかを設定します。 ①アラームログリスト ③手動保存ログリスト ⑤FTP定期送信エラーログリスト
	<u>ON</u>	ログを保存します。
	OFF	ログを保存しません。
② ④ ⑥	[画像ダウンロード先のディレクトリー名]	ログに関連づけした画像をダウンロードするPCのディレクトリーを入力します。例えば、Cドライブのalarmディレクトリーを指定する場合は、「C:¥alarm」と入力します。 ②アラームログリスト ④手動保存ログリスト ⑥FTP定期送信エラーログリスト 入力可能文字数：3～128文字 入力可能文字：半角英数字、半角記号 ¥ : / _
	<u>C:¥nwcam</u>	
⑦	[設定] ボタン	設定／変更をした場合は、必ずクリックします。

## 本機の基本設定（つづき）

### アラームのログと画像の保存関係について

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ		アラームのログと画像
アラーム： ログ保存	SDメモリー カードの使用	保存モード	
ON	使用する	アラーム発生時	<p>ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。</p> <p>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達すると、ログと同期して古い画像から上書きされます。</p>
		上記以外	<p>ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、古いログから上書きされます。</p> <p>画像：保存されません。</p>
	使用しない	—	<p>ログ：最大1 000件まで保存されます。1 000件を超えると、古いログから上書きされます。電源を切るとログは消去されます。</p> <p>画像：保存されません。</p>
OFF	使用する	アラーム発生時	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。</p> <p>※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（※16ページ）してから表示してください。</p>
		上記以外	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>
	使用しない	—	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>

## 本機の基本設定（つづき）

### 手動保存のログと画像の保存関係について

【ログ】 タブ	【SDメモリーカード】 タブ			手動保存のログと画像
手動保存： ログ保存	SDメモリー カードの使用	保存モード	上書き	
ON	使用する	手動保存	上書き する	<p>ログ：最大 5 000 件まで保存されます。5 000 件を超えると、古いログから上書きされます。</p> <p>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが 5 000 件に到達するとログと同期して古い画像から上書きされます。</p>
			上書き しない	<p>ログ：最大 5 000 件まで保存されます。5 000 件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは 5 000 件まで保存されます。</p> <p>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが 5 000 件に到達すると、画像は保存されなくなります。</p>
		上記以外	—	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>
	使用しない	—	—	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>
OFF	使用する	手動保存	上書き する	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。</p> <p>※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞16ページ）してから表示してください。</p>
			上書き しない	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。</p> <p>※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞16ページ）してから表示してください。</p>
		上記以外	—	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>
	使用しない	—	—	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>

## 本機の基本設定（つづき）

### FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ		FTP定期送信エラーのログと画像
FTP定期送信エラー：ログ保存	SDメモリーカードの使用	保存モード	
ON	使用する	FTP定期送信エラー時	<p>ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5 000件まで保存されます。</p> <p>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達すると、画像は保存されなくなります。</p>
		上記以外	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>
	使用しない	—	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>
OFF	使用する	FTP定期送信エラー時	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量が無くなると、画像は保存されなくなります。</p> <p>※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞16ページ）してから表示してください。</p>
		上記以外	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>
	使用しない	—	<p>ログ：保存されません。</p> <p>画像：保存されません。</p>

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定

カメラ設定ページでは、JPEG/MPEG-4画像、カメラ動作、画質/ポジション、音声に関する情報を設定します。カメラ設定ページは、[JPEG/MPEG-4] タブ、[カメラ動作] タブ、[画質/ポジション] タブ、[音声] タブで構成しています。

## JPEG画像を設定する [JPEG/MPEG-4]

カメラ設定ページの [JPEG/MPEG-4] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：5、6ページ)  
ここでは、JPEG画像の更新速度、解像度、画質を設定します。MPEG-4画像に関する設定については22ページをお読みください。



(下線部は初期設定です)

項番	項目	内容
①	[画像更新速度]	JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。  ✎メモ✎ ● 「MPEG-4配信」を「ON」に設定して、「*」付きの値を設定すると、ご利用のネットワーク環境によっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。
	<u>5 fps</u>	0.1 fps / 0.2 fps / 0.33 fps / 0.5 fps / 1 fps / 2 fps / 3 fps / 5 fps / 6 fps * / 10 fps * / 15 fps * / 30 fps *
②	[解像度]	JPEG画像の解像度をQVGA/VGAのどちらかに設定します。
	<u>VGA</u>	QVGA / VGA
③	[画質]	JPEG画像の画質を設定します。画質は、以下から選択します。
	<u>5 標準</u>	0 最高画質 / 1 高画質 / 2 / 3 / 4 / 5 標準 / 6 / 7 / 8 / 9 低画質
④	[設定] ボタン	設定/変更をした場合は、必ずクリックします。

## MPEG-4画像を設定する [JPEG/MPEG-4]

カメラ設定ページの [JPEG/MPEG-4] タブをクリックします。（※設定メニューの表示・操作：5、6ページ）  
ここでは、MPEG-4画像のビットレート、解像度、画質などを設定します。JPEG画像に関する設定については21ページをお読みください。

インターネットを介してMPEG-4画像を配信する場合の設定については96ページをお読みください。



（下線部は初期設定です）

(1/3)

項番	項目	内容
①	[MPEG-4配信]	MPEG-4画像を配信するかどうかを設定します。  ✍️メモ✍️ ● 「MPEG-4配信」を「ON」に設定した場合は、MPEG-4画像とJPEG画像の両方を見ることができます。ただし、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。
	ON	MPEG-4画像を配信することができます。
	OFF	MPEG-4画像を配信しません。
②	[1クライアントあたりのビットレート]	1クライアントに対するMPEG-4ビットレートを以下から選択します。  ✍️メモ✍️ ● ビットレートは、ネットワーク設定ページの [配信量制御 (ビットレート)] と連動します（※70ページ）。[*] 付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
	<u>(固定ビットレート)</u> 2048 kbps	選択レート：(固定ビットレート) 64 kbps / 128 kbps * / 256 kbps * / 512 kbps * / 1024 kbps * / 1536 kbps * / 2048 kbps * / 3072 kbps * / 4096 kbps * / (フレームレート優先) 4096 kbps * / 制限なし*



# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（2/3）

項番	項目	内容
③	[解像度]	MPEG-4画像の解像度をQVGA/VGAのどちらかに設定します。
	<u>VGA</u>	QVGA/VGA
④	[画質]	MPEG-4画像の画質を選択します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>✎メモ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1クライアントあたりのビットレートが「(フレームレート優先) 4096 kbps *」または「制限なし *」を選択している場合は設定できません。</li> </ul> </div>
	動き優先	動きを優先します（画質は粗くなります）。
	標準	標準の設定です。
	画質優先	画質を優先します（コマ落ちする場合があります）。
⑤	[リフレッシュ周期]	MPEG-4画像をリフレッシュする周期（iフレーム周期）を以下から選択します。ご利用のネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ周期を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。
	<u>3秒</u>	0.2秒/0.33秒/0.5秒/1秒/2秒/3秒/4秒/5秒
⑥	[配信方式]	MPEG-4画像の配信方式を選択します。 画像を配信するときの方法を以下から選択します。 ユニキャストを選択した場合は、1台のカメラに最大8人までアクセスできます。マルチキャストを選択した場合は、人数制限なしに同時にアクセスできます。（最大ユーザー数について 取扱説明書『操作編』）
	<u>ユニキャスト（ポート番号設定：オート）</u>	ユニキャストでMPEG-4画像を送信するとき使用するポート番号は自動的に割り当てられます。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>✎メモ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ネットワーク内で使用する場合など、MPEG-4画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に設定することをお勧めします。</li> </ul> </div>
	ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）	ユニキャストでMPEG-4画像を送信するときを選択します。使用するポート番号を設定してください。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>✎メモ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合などは、ブロードバンドルーターに設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください。詳しくは、使用するブロードバンドルーターの取扱説明書をお読みください。</li> </ul> </div>
	マルチキャスト	マルチキャストでMPEG-4画像を送信するとき [マルチキャストアドレス] [マルチキャストポート番号] [マルチキャストTTL] を入力します。

## 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（3/3）

項番	項目	内容
⑦	[ユニキャストポート番号 1（画像）] ※1 <u>32004</u>	ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用するポート番号）を入力します。 設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ）
⑧	[ユニキャストポート番号 2（音声）] ※1 <u>33004*</u>	ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用するポート番号）を入力します。 設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ）
⑨	[マルチキャストアドレス] ※2 <u>239.192.0.20</u>	マルチキャストアドレスのIPアドレスを入力します。指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。 設定可能範囲：224.0.0.0～239.255.255.255
⑩	[マルチキャストポート 番号] ※2 <u>37004</u>	マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用するポート番号）を入力します。  <b>!!重要!!</b> ●マルチキャストポート番号は、未使用のポート番号を入力してください。
⑪	[マルチキャストTTL] ※ 2 <u>16</u>	マルチキャストのTTL値を入力します。  <b>!!重要!!</b> ●インターネット経由でMPEG-4画像を配信できない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ●複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、カメラ接続しているネットワークに接続していないLANカードを無効にしてください。
⑫	[設定] ボタン	設定／変更をした場合は、必ずクリックします。

※1 [配信方式] が「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」の場合に設定します。

※2 [配信方式] が「マルチキャスト」の場合に設定します。

## カメラの名称や動作を設定する [カメラ動作]

カメラ設定ページの [カメラ動作] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：5、6ページ)  
ここでは、カメラの名称や動作に関する情報を設定します。



(下線部は初期設定です)

(1/3)

項番	項目	内容
①	[画面内文字表示]	[画面内文字] で入力した文字列を画像上に表示させるかどうかを設定します。
	ON	[日時&画面内文字表示位置] (※9ページ) で設定した場所に [画面内文字] で入力した文字列を表示させます。
	OFF	画像上に文字列を表示しません。
②	[画面内文字 (A~Z、0~9、カナ)]	画像内で表示する本機の名称を入力します。 入力可能文字数：0~16文字 入力可能文字：0~9 (半角)、A~Z (半角、大文字)、全角カナ、半角記号 (! " # \$ % & ' ( ) * + , - . / : ; = ?)
③	[ホームポジション設定]	あらかじめ設定 (※34ページ) したプリセットポジションを、ホームポジションとして設定します。ホームポジションに設定すると、プリセットポジション番号の横に「H」を表示します。
	ON	ホームポジションを設定します。
	OFF	ホームポジションを設定しません。
④	[セルフリターン]	手動での操作終了後に、「セルフリターン時間」で設定した時間が経つと、カメラの動作を以下のいずれかの動作モードへ自動的に戻すことができます。
		<p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源投入時に上記動作をさせたい場合は、セルフリターン機能を使用すると便利です。</li> <li>設定メニューを表示しているときでも、セルフリターン機能は動作します。</li> </ul>
	OFF	セルフリターンを行いません。
	ホームポジション	設定した時間が経つと、ホームポジションに戻ります。
	自動追従	設定した時間が経つと、ホームポジションに戻り、自動追従動作を開始します。一定時間経過後、ホームポジションに戻り自動追従開始の動作を繰り返します。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（2/3）

項番	項目	内容
	オートパン	設定した時間が経つと、オートパン動作を開始します。
	プリセットシーケンス	設定した時間が経つと、シーケンス動作を開始します。
	パトロール1	設定した時間が経つと、パトロール動作を開始します。
⑤	[セルフリターン時間]	手動での操作終了後に、「セルフリターン」で設定した動作へ戻るまでの時間を以下から選択します。
	1分	10秒／20秒／30秒／1分／2分／3分／5分／10分／20分／30分／60分
⑥	[イメージホールド]	カメラの向きがプリセットポジションへの移動を完了するまで、移動前の画像を静止画で表示するかどうかをON/OFFで設定します。
	ON	プリセットポジションへの移動が完了するまで、移動前の画像を静止画で表示します。
	OFF	プリセットポジションへ移動中の画像を表示します。
⑦	[画揺れ補正]	カメラの画揺れ補正機能を使用するかどうかを設定します。カメラを電柱およびポールに設置した場合などに有効です。  <b>!!重要!!</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ON」に設定すると、画角が狭くなり解像度が劣化します。「ON」に設定した場合は、カメラを取り付ける際に画角を確認してください（取扱説明書『操作編』）。</li> </ul> 以下の被写体に対しては、画揺れ補正が効かない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暗い被写体</li> <li>・ 明暗差のない被写体（白い壁など）</li> <li>・ 機械的振動などの速い周期の画揺れ</li> <li>・ 振幅の大きい画揺れ</li> </ul>
	ON	画揺れを軽減します。
	OFF	画揺れ補正をしません。
⑧	[電子ズーム]	電子ズームを行うかどうかをON/OFFで設定します。  <b>メモ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子ズームを「ON」に設定すると、ズーム操作時に30倍で一度停止します。</li> <li>● 30倍以上（電子ズーム）では、倍率を上げると解像度が低下します。</li> <li>● 30倍よりもズーム倍率が高い場合は、プリセットポジションの設定はできません。</li> </ul>
	ON（最大10倍）	1倍～30倍までは光学、それ以上（300倍まで）は、電子ズームになります。
	OFF	電子ズームを行いません。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（3/3）

項番	項目	内容
⑨	[パン・チルト角度／倍率表示]	<p>手動での操作時に、画像内にパン・チルト角度／ズーム倍率を表示するかどうかを設定します。</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ON」に設定すると、[基本] タブの「日時&amp;画面内文字表示位置」で設定した場所に、パン・チルト角度／倍率が表示されます。（<a href="#">P.9</a>ページ）</li> </ul> <hr/>
	<u>ON</u>	パン・チルト角度／ズーム倍率を表示します。
	OFF	パン・チルト角度／ズーム倍率を表示しません。
⑩	[チルト範囲指定]	<p>チルト動作の角度制限を以下から選択します。（水平=0°）</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「チルト範囲設定」を「-5°」に設定した場合、WIDE（広角）側で画面の上部約半分が隠れます。また、「ゲイン」をONに設定（<a href="#">P.30</a>ページ）した場合、被写体によっては、AGCの効果により映像が白くなる場合があります。</li> </ul> <hr/>
	<u>0°</u>	0° / -1° / -2° / -3° / -4° / -5°
⑪	[設定] ボタン	設定／変更をした場合は、必ずクリックします。

## 画質／ポジションを設定する [画質／ポジション]

カメラ設定ページの [画質／ポジション] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）  
各項目の [詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、詳細設定画面を別ウインドウで表示し、[画質／ポジション] タブに表示されている画像を見ながら設定します。

ここでは、画質、プリセットポジション、オートパン、パトロール、プライバシーゾーンを設定します。



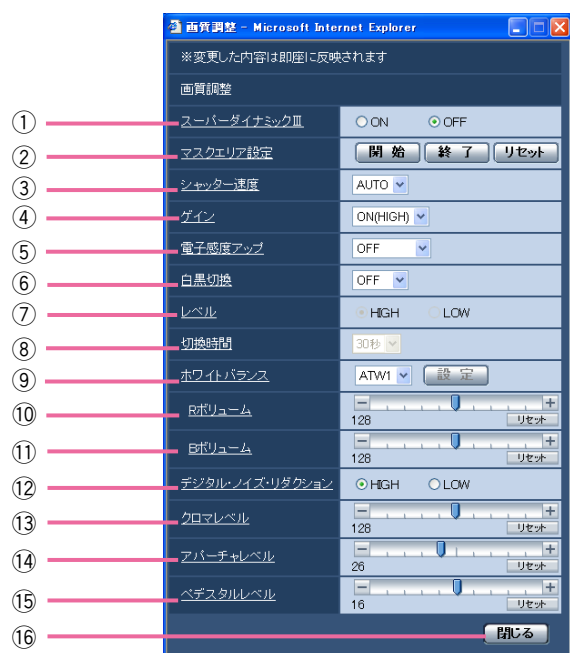
項番	項目	内容
①	[画質調整]	[詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、画質調整に関する設定画面を別ウインドウで表示します。（→29ページ）
②	[プリセットポジション設定]	[詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、プリセットポジションに関する設定画面を別ウインドウで表示します。（→34ページ）
③	[オートパン設定]	[詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、オートパンに関する設定画面を別ウインドウで表示します。（→38ページ）
④	[パトロール設定]	[詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、パトロールに関する設定画面を別ウインドウで表示します。（→40ページ）
⑤	[プライバシーゾーン設定]	[詳細設定へ>>>] ボタンをクリックすると、プライバシーゾーンに関する設定画面を別ウインドウで表示します。（→42ページ）

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

## 画質の調整を行う（画質調整画面）

[画質／ポジション] タブで、「画質調整」の[詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。(☞28ページ)

ここでは、画質調整に関して詳細を設定します。値を変更した場合は、[画質／ポジション] タブに表示されている画像にも、変更した内容を同時に反映します。



(下線部は初期設定です)

(1/4)

項番	項目	内容
①	[スーパーダイナミックⅢ]	スーパーダイナミックⅢ (SUPER-DⅢ) を作動させるかどうかを設定します。 (スーパーダイナミックⅢについて☞『基本編』)
		<p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 照明の条件によりちらつき、色の変化、ノイズが発生する場合は、「OFF」に設定してください。</li> </ul>
②	[マスクエリア設定]	「スーパーダイナミックⅢ」を「OFF」に設定した場合は、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正します。 操作方法については、32ページをお読みください。
	[開始] ボタン	マスクエリア設定を開始します。
	[終了] ボタン	マスクエリア設定を終了します。
	[リセット] ボタン	設定したマスクエリアを解除します。



# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（2/4）

項番	項目	内容
③	[シャッター速度]	電子シャッターの速度を選択します。[シャッター速度] を「AUTO」に設定してもフリッカ（ちらつき）を補正できないときは、「1/100」に設定してください。
	<u>AUTO</u>	シャッター速度を自動調節して、蛍光灯によるフリッカ（ちらつき）を軽減します。
	OFF	1/60秒固定です。
	1/100	1/100秒固定です。
④	[ゲイン]	ゲイン（映像信号の増幅度）の調節方法を選択します。
	<u>ON (HIGH)</u> 、 ON (MID)、 ON (LOW)、	被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。 （ ）内のHIGH/MID/LOWはゲインのレベルになります。
	OFF	ゲインを常に固定した状態で撮影します。
⑤	[電子感度アップ]	電子感度アップの割合を以下から選択します。CCDの蓄積時間を変えて電子感度を上げます。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「x32 AUTO」に設定すると、32倍までの間で自動的に電子感度を上げます。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; background-color: #f0f0f0;"> <p><b>!!重要!!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子感度アップを「ON」に設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点（傷）が見える場合があります。</li> </ul> </div>
	<u>OFF</u>	OFF/x2 AUTO/x4 AUTO/x6 AUTO/x10 AUTO/x16 AUTO/x32 AUTO
⑥	[白黒切換]	白黒映像とカラー映像映像の切り換えをします。
	ON	白黒映像を表示します。
	<u>OFF</u>	カラー映像を表示します。
	AUTO	画面の明るさ（照度）により、カラー映像と白黒映像を自動的に切り換えます。暗い場合は白黒映像に、明るい場合はカラー映像に切り換えます。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（3/4）

項番	項目	内容
⑦	[レベル]	白黒映像に切り換える照度のレベルを設定します。
	HIGH	カメラの周囲の明るさ（照度）が約5 lx以下で白黒映像に切り換えます。
	LOW	カメラの周囲の明るさ（照度）が約2 lx以下で白黒映像に切り換えます。
⑧	[切換時間]	カラー映像と白黒映像を切り換えるまでの時間を以下から選択します。
	30秒	10秒／30秒／1分／5分
⑨	[ホワイトバランス]	ホワイトバランスの調節方法を選択します。Rボリューム（赤色の調節）またはBボリューム（青色の調節）で白の色合いを調節します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>✎メモ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「以下の条件に該当する場合は、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は、「AWC」に設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>被写体の大部分が濃い色</li> <li>光源が、抜けるような青空および夕暮れ時の太陽</li> <li>被写体を照らす照度が暗い</li> </ul> </li> <li>「AWC」を選択した場合は、[設定] ボタンをクリックしてください。ホワイトバランスの調節が終了するまで約7秒間かかります。</li> </ul> </div>
	ATW1	自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。 動作範囲は約2 700 K～6 000 Kです。
	ATW2	ナトリウム灯自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調節します。 動作範囲は約2 000 K～6 000 Kです。
	AWC	自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。 動作範囲は約2 000 K～10 000 Kです。
⑩	[Rボリューム]	画像の赤色を調節します。 カーソルを+の方向に動かすと濃くなり、-の方向に動かすと薄くなります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
⑪	[Bボリューム]	画像の青色を調節します。 カーソルを+の方向に動かすと濃くなり、-の方向に動かすと薄くなります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
⑫	[デジタル・ノイズ・リダクション]	ノイズリダクション効果のレベルを設定します。低照度で自動的にノイズを低減します。
	HIGH	効果は大きくなりますが、残像が多くなります。
	LOW	効果は小さくなりますが、残像が少なくなります。
⑬	[クロマレベル]	画像の色の濃さを調節します。 カーソルを+の方向に動かすと濃くなり、-の方向に動かすと薄くなります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

(4/4)

項番	項目	内容
⑭	[アパーチャレベル]	アパーチャレベル（輪郭補正）を調節します。 カーソルを+の方向に動かすとシャープな画像になり、-の方向に動かすとソフトな画像になります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
⑮	[ペDESTALレベル]	画像の黒レベルを調節します。 カーソルを+の方向に動かすと明るくなり、-の方向に動かすと暗くなります。 [リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
⑯	[閉じる] ボタン	画質調整画面を閉じます。

## マスクエリアを設定する

画面の明るい部分にマスクをかけて逆光を補正します。

### ●画質調整画面

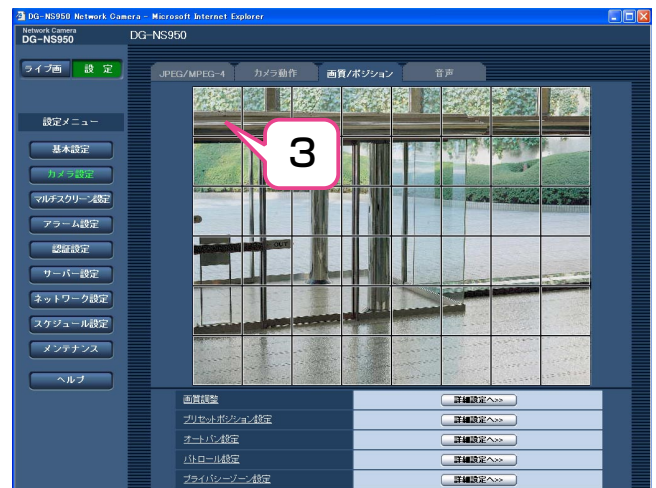
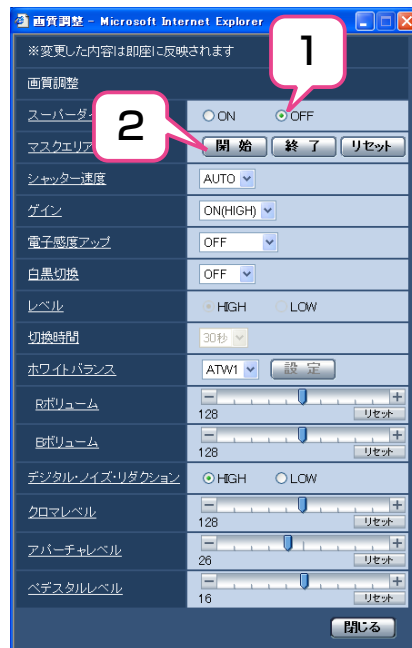
1 [スーパーダイナミックⅢ] を「ON」に設定している場合は、「OFF」に設定する

2 [マスクエリア設定] の [開始] ボタンをクリックする

- [画質/ポジション] タブの画像上に6×8の枠が表示されます。

3 マスクをかけるエリアをクリックする

- クリックした枠がマスクエリアに設定され、白色になります。



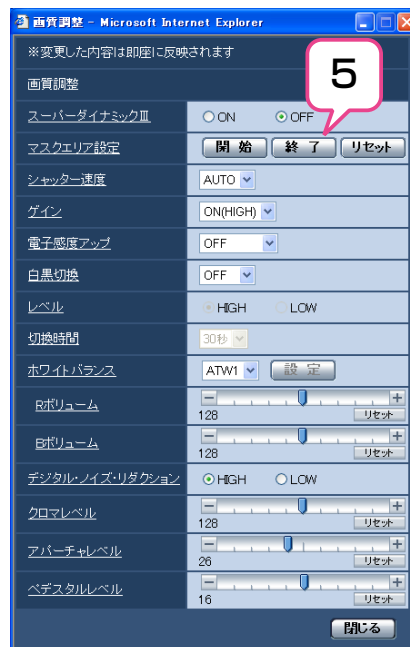
# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

4 マスクを解除するときは、マスクエリアに設定した枠を再度クリックする



5 マスクエリアを設定したら、[終了] ボタンをクリックする

- [画質／ポジション] タブの画像上から枠が消えます。



## メモ

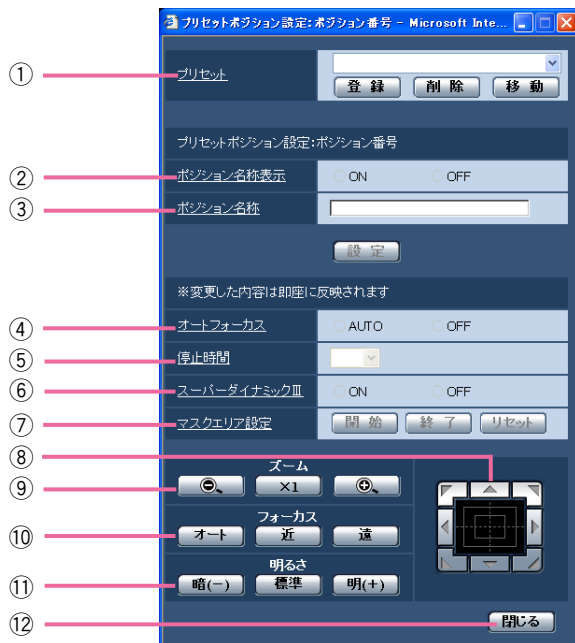
- 設定したマスクエリアを解除する場合は、[リセット] ボタンをクリックします。
- マスクエリア設定は、電子ズームを設定する前に、実施してください。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

## プリセットポジションを設定する（プリセットポジション設定画面）

[画質／ポジション] タブで、「プリセットポジション設定」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。（[P.28](#) ページ）

ここでは、プリセットポジションの登録、変更、削除を設定します。フォーカスや明るさ、ズームなどを調節すると、[画質／ポジション] タブに表示されている画像にも、変更した内容を同時に反映します。



(1/3)

項番	項目	内容
①	[プリセット]	<p>プリセットポジションを登録します。</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プリセットポジションを登録する際、最後に操作した方向にカメラの向きが少し移動します。これは、記憶可能なプリセットポジションへ移動するための動作です。異常ではありません。</li> <li>●パン、チルト、ズーム操作は、[画質／ポジション] タブの画像上でも操作できます。</li> </ul>
	プリセット番号欄	プリセット番号を選択します。初期設定は空欄です。 設定可能範囲：1～256
	[登録] ボタン	プリセットポジションを登録します。
	[削除] ボタン	登録したプリセットポジションを削除します。
	[移動] ボタン	プリセット番号を選択して [移動] ボタンをクリックすると、選択したプリセットポジションの位置にカメラの向きが移動し、登録した内容をプリセットポジション設定画面に表示します。カメラの画像は、[画質／ポジション] タブに表示します。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

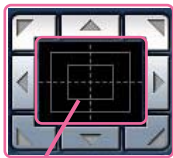









（2/3）

項番	項目	内容
②	プリセットポジション設定：ポジション番号 [ポジション名称表示]	<p>ポジション名称を表示するかどうかをプリセットポジションごとに設定します。</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ON」に設定すると、[基本] タブの「日時&amp;画面内文字表示位置」で設定した場所に、ポジション名称を表示します。（P.9ページ）</li> </ul> <p><b>!!重要!!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ポジション名称」と「ポジション名称表示」を設定した場合は、「設定」ボタンを必ずクリックしてください。</li> </ul>
	ON	ポジション名称を表示します。
	OFF	ポジション名称を表示しません。
③	プリセットポジション設定：ポジション番号 [ポジション名称]	<p>画像上に表示する名称を、プリセットポジションごとに入力します。</p> <p>入力可能文字数：0～16文字                      入力可能文字：0～9（半角）、A～Z（半角、大文字）、全角カナ、半角記号                      (!"#\$%&amp;'()*+-. / ; : = ?)</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入力したポジション名称は、プルダウンのプリセットポジション番号横に表示します。また、「ポジション名称表示」を「ON」に設定すると、画像上にも表示します。</li> </ul>
④	[オートフォーカス]	<p>プリセット移動後にオートフォーカスを行うかどうかをプリセットポジション毎に設定します。</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>奥行きが変化しない被写体または、コントラストが低い被写体、スポットライトなど高輝度が存在する被写体などにプリセット動作を行う場合は、「OFF」に設定するとすばやくピントを合わせることができます。</li> </ul>
	AUTO	プリセット移動後にオートフォーカスを行います。
	OFF	プリセット移動後にオートフォーカスを行いません。
⑤	[停止時間]	<p>プリセットシーケンス動作時に、各プリセットポジションの画像を映し出す時間（カメラの回転が停止している時間）を以下から選択します。</p>
	<u>10秒</u>	5秒／10秒／20秒／30秒
⑥	[スーパーダイナミックⅢ]	<p>スーパーダイナミックⅢを作動させるかどうかをプリセットポジションごとに設定します。</p>
	ON	スーパーダイナミックⅢを作動させます。
	OFF	スーパーダイナミックⅢを停止します。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（3/3）

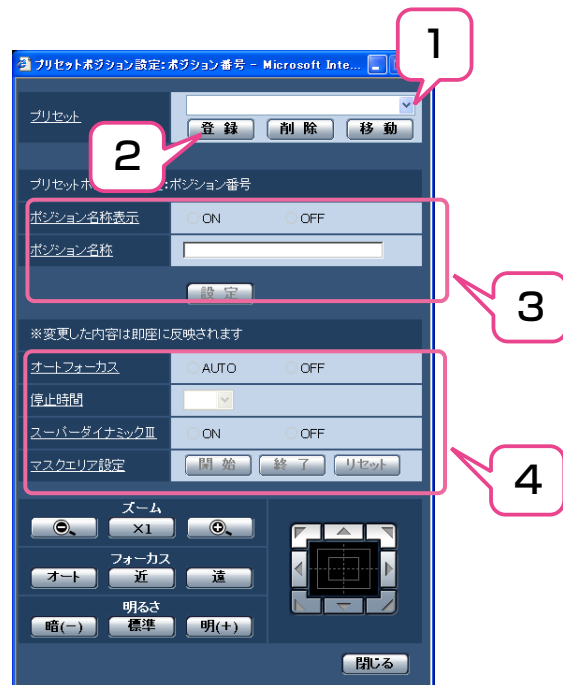
項番	項目	内容
⑦	[マスクエリア設定]	「スーパーダイナミックⅢ」を「OFF」に設定した場合は、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正します。 操作方法については、32ページをお読みください。 プリセット番号を選択し、[移動] ボタンをクリックしてから設定してください。
	開始	マスクをかけるエリアの設定操作を開始します。
	終了	マスクをかけるエリアの設定操作を終了します。
	リセット	設定したエリアをすべて解除します。
⑧	コントロールパッド／ボタン	画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）およびズームとフォーカスの調整を行います。 画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト） ：コントロールパッドまたはボタンを左クリックします。 パッドの外側をクリックするほど、カメラの動作速度が速くなります。 また、マウスをドラッグして調節することもできます。 ズーム・フォーカス ：コントロールパッドまたはボタンを右クリックします。パッドの上下方向で上半分をクリックするとズーム（倍率）が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。 左右方向で左半分をクリックするとフォーカス（焦点）が近く、右半分をクリックすると遠くなります。 マウスホイール操作でもズームを調節できます。
		
	コントロールパッド	ボタン
⑨	ズーム	画像のズームを調節します。
	 ボタン	ズーム（倍率）を「広角」方向に調節します。
	 ボタン	ズーム（倍率）を1倍にします。
	 ボタン	ズーム（倍率）を「望遠」方向に調節します。
⑩	フォーカス	画像のフォーカスを調節します。
	 ボタン	自動的にフォーカス（焦点）を調節します。
	 ボタン	フォーカス（焦点）を「近」方向に調節します。
	 ボタン	フォーカス（焦点）を「遠」方向に調節します。
⑪	明るさ	画像の明るさを調節します。
	 ボタン	画像が暗くなります。
	 ボタン	お買い上げ時の明るさに戻ります。
	 ボタン	画像が明るくなります。
⑫	[閉じる] ボタン	プリセットポジション設定画面を閉じます。



# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

## プリセットポジションを登録する

- 1 カメラの向きを登録する方向へ移動し、「プリセット」からプリセット番号を選択する
- 2 【登録】 ボタンをクリックする
  - 「プリセットポジション設定：ポジション番号」に選択したプリセットポジション番号が表示されます。
- 3 ポジション名称をライブ画ページに表示する場合は、「ポジション名称表示」を「ON」に設定し、ポジション名称を入力して設定ボタンを押す
- 4 ポジションごとの詳細設定を行う場合は、オートフォーカスや停止時間など各項目を設定する

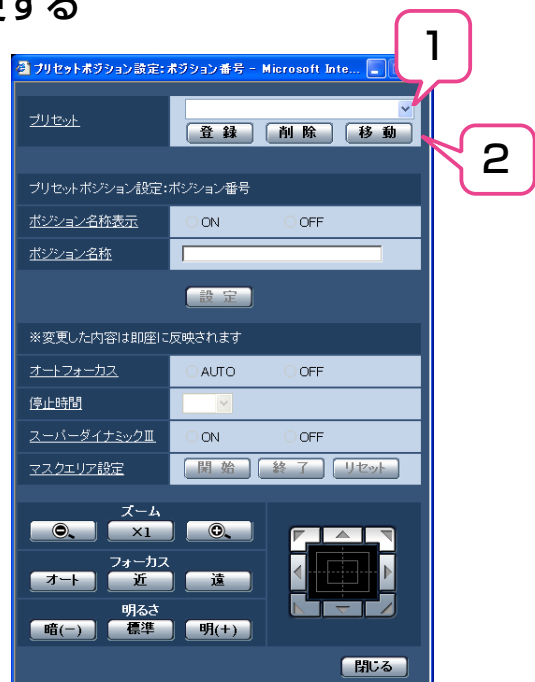


### メモ

- 30倍以上のズーム倍率では、プリセットポジションの登録ができません。ズーム倍率を30倍以下にしたあと、再度登録してください。
- デジタルフリップ動作時は、プリセットポジション登録ができません。[登録] ボタンをクリックしたあと、パン・チルト動作により同じポジションに移動しますので、再度 [登録] ボタンをクリックしてください。

## 登録済みプリセットポジションの設定を変更する

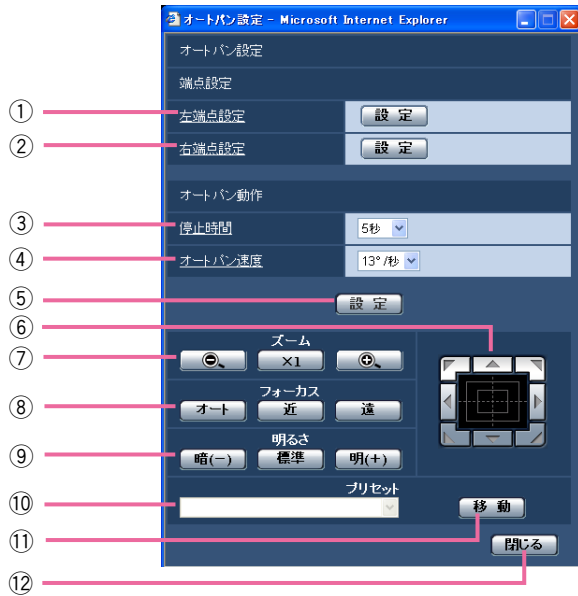
- 1 「プリセット」からプリセット番号を選択する
- 2 【移動】 ボタンをクリックする
  - カメラの向きがプリセットポジションの方向に動き終わったら、「プリセットポジションを登録する」の手順3~4と同じ操作を行ってください。



# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

## オートパンを設定する（オートパン設定画面）

[画質/ポジション] タブで、「オートパン設定」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。（☞28ページ）  
ここでは、オートパンに関する情報を設定します。



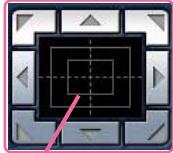


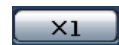


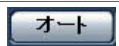






(下線部は初期設定です)

(1/2)

項番	項目	内容
①	端点設定 [左端点設定]	オートパン左端点位置を設定します。
	[設定] ボタン	オートパンで左端点としたい位置にカメラの向きを移動してから、[設定] ボタンをクリックします。
②	端点設定 [右端点設定]	オートパン右端点位置を設定します。
	[設定] ボタン	コントロールパッド/ボタンでオートパンの右端点としたい位置にカメラの向きを移動してから、[設定] ボタンをクリックします。
③	オートパン動作 [停止時間]	左端点位置および右端点位置での停止時間を以下から選択します。
	5秒	選択時間：5秒/10秒/20秒/30秒
④	オートパン動作 [オートパン速度]	パン動作の巡回速度を以下から選択します。
	13° /秒	3° /秒、4° /秒、5° /秒、7° /秒、10° /秒、13° /秒、18° /秒、24° /秒

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

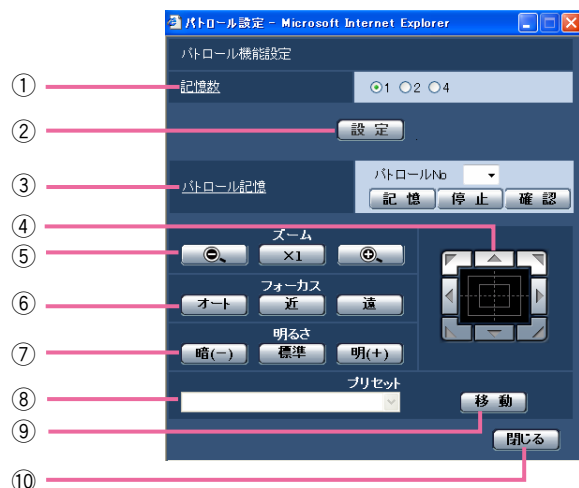
(2/2)

項番	項目	内容
⑤	オートパン動作 [設定]	<p>オートパン動作を設定した場合は、必ずクリックします。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>!!重要!!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● [設定] ボタンをクリックしないと、オートパン設定内容は反映されません。</li> <li>● オートパン動作中に設定を変更した場合は、現在のオートパンをいったん停止してから、オートパン動作を開始してください。</li> </ul> </div>
⑥	コントロールパッド/ボタン 	<p>画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）およびズームとフォーカスの調整を行います。</p> <p>画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）</p> <p>：コントロールパッドまたはボタンを左クリックします。</p> <p>パッドの外側をクリックするほど、カメラの動作速度が速くなります。また、マウスをドラッグして調節することもできます。</p> <p>ズーム・フォーカスの調節</p> <p>：コントロールパッドを右クリックします。パッドの上半分をクリックするとズーム（倍率）が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。左半分をクリックするとフォーカス（焦点）が近く、右半分をクリックすると遠くなります。</p> <p>マウスホイール操作でもズームを調節できます。</p>
⑦	ズーム 	<p>画像のズームを調節します。</p> <p> ボタン    ズーム（倍率）を「広角」方向に調節します。</p> <p> ボタン    ズーム（倍率）を1倍にします。</p> <p> ボタン    ズーム（倍率）を「望遠」方向に調節します。</p>
⑧	フォーカス 	<p>画像のフォーカスを調節します。</p> <p> ボタン    自動的にフォーカス（焦点）を調節します。</p> <p> ボタン    フォーカス（焦点）を「近」方向に調節します。</p> <p> ボタン    フォーカス（焦点）を「遠」方向に調節します。</p>
⑨	明るさ 	<p>画像の明るさを調節します。</p> <p> ボタン    画像が暗くなります。</p> <p> ボタン    お買い上げ時の明るさに戻ります。</p> <p> ボタン    画像が明るくなります。</p>
⑩	プリセット	登録したプリセット（プルダウン表示）から選択します。
⑪	プリセット [移動] ボタン	プリセット番号の位置へ移動します。
⑫	[閉じる] ボタン	プリセットポジション設定画面を閉じます。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

## パトロール機能を設定する（パトロール機能設定画面）

[画質/ポジション] タブで、「パトロール設定」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。（☞28ページ）  
ここでは、パトロールに関する情報を設定します。



（下線部は初期設定です）

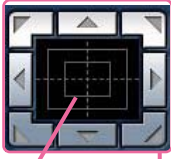






(1/3)

項番	項目	内容
①	[記憶数]	パトロールの記憶数を選択します。記憶数により、記憶できる時間が変わります。
	1	パトロール1に、2分間の動作を記憶します。
	2	パトロール1、パトロール2に、それぞれ1分間の動作を記憶します。
	4	パトロール1、パトロール2、パトロール3、パトロール4に、それぞれ30秒間の動作を記憶します。
②	記憶数 [設定]	記憶数を設定した場合は、必ずクリックします。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記憶数を変更すると、記憶したパトロール動作は消去されます。</li> </ul> </div>
③	[パトロール記憶]	パトロールNoを選択します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記憶するカメラ動作は以下のとおりです。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①動作開始位置記憶時 パン・チルト・ズーム・フォーカス位置/明るさ/スーパーダイナミックⅢ/シャッター速度/ゲイン/電子感度アップ/ホワイトバランスの設定/Rボリューム/Bボリューム</li> <li>②カメラ操作時 パン・チルト・ズーム・フォーカス位置/明るさ/プリセットポジションの移動</li> </ul> </li> </ul> </div>

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）




（下線部は初期設定です）

(2/3)

項番	項目	内容
		<hr/> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パトロール動作中は、オートフォーカス機能は動作しません。このときズームレンズの特性としてWIDE（広角）側からズームアップした場合、ピントがぼけます。ズーム動作を記憶する場合は、TELE（望遠）側からスタートするとピントのずれが抑えられます。</li> <li>●パトロールの動作範囲は、水平から真下までです。デジタルフリップ機能は動作しません。</li> </ul> <hr/>
	パトロールNo. 1	パトロールNo（1、2、3、4）を選択します。 パトロールNo右側の「*」印は、すでにパトロール動作が記憶されていることを表します。
	[記憶] ボタン	パトロールNoを選択した状態でクリックすると、カメラ動作の記憶を開始します。記憶中は、画面中央に「LEARNING（〇〇〇S）」の文字が表示されます。〇〇〇Sは、記憶可能な残り時間です。
	[停止] ボタン	クリックすると、カメラ動作の記憶中は記憶を停止し、カメラ動作の再現中は再現を停止します。残り時間が0秒（0S）の場合は、自動的に停止します。
	[確認] ボタン	パトロールNoを選択した状態でクリックすると、記憶したカメラ動作を再現します。
④	コントロールパッド／ボタン  コントロールパッド ボタン	画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）およびズームとフォーカスの調整を行います。 画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト） ：コントロールパッドまたはボタンを左クリックします。 パッドの外側をクリックするほど、カメラの動作速度が速くなります。 また、マウスをドラッグして調節することもできます。 ズーム・フォーカスの調節 ：コントロールパッドを右クリックします。パッドの上半分をクリックするとズーム（倍率）が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。 左半分をクリックするとフォーカス（焦点）が近く、右半分をクリックすると遠くなります。 マウスホイール操作でもズームを調節できます。
⑤	ズーム	画像のズームを調節します。
	 ボタン	ズーム（倍率）を「広角」方向に調節します。
	 ボタン	ズーム（倍率）を1倍にします。
	 ボタン	ズーム（倍率）を「望遠」方向に調節します。
⑥	フォーカス	画像のフォーカスを調節します。
	 ボタン	自動的にフォーカス（焦点）を調節します。
	 ボタン	フォーカス（焦点）を「近」方向に調節します。
	 ボタン	フォーカス（焦点）を「遠」方向に調節します。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

(3/3)

項番	項目	内容
⑦	明るさ	画像の明るさを調節します。
	 ボタン	画像が暗くなります。
	 ボタン	お買い上げ時の明るさに戻ります。
	 ボタン	画像が明るくなります。
⑧	プリセット	登録したプリセット（プルダウン表示）から選択します。
⑨	プリセット [移動] ボタン	プリセット番号の位置へ移動します。
⑩	[閉じる] ボタン	パトロール設定画面を閉じます。

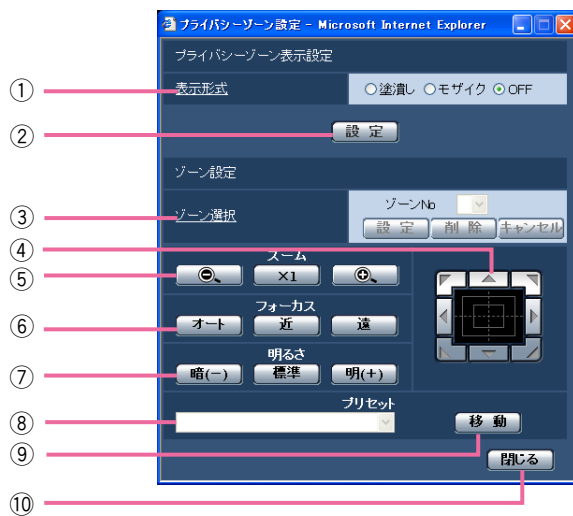
## プライバシーゾーンを設定する（プライバシーゾーン設定画面）

[画質/ポジション] タブで、「プライバシーゾーン設定」の [詳細設定へ>>>] ボタンをクリックします。（P.28 ページ）

ここでは、撮影場所（画面）の中に写したくない部分がある場合は、その部分（プライバシーゾーン）だけを表示しないように設定します。プライバシーゾーンは最大8か所まで設定できます。

### メモ

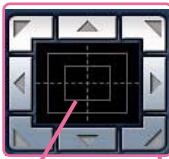









- カメラの向き（特にチルト角度45°～90°）や倍率によっては隠したい場所が見えてしまうことがあります。必ず設定後に確認してください。
- 電源投入直後の初期動作時やポジションリフレッシュ中は、プライバシーゾーン機能は動きません。



# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（1/2）

項番	項目	内容
①	[表示形式]	プライバシーゾーンの表示形式を設定します。
	塗潰し	グレーで表示します。
	モザイク	モザイクで表示します。
	OFF	表示しません。
②	表示形式 [設定]	表示形式を設定した場合は、必ずクリックします。
③	ゾーン設定 [ゾーン選択]	プライバシーゾーンを設定します。
	ゾーンNo	設定する番号（1～8）を選択します。ゾーンNo右側の「*」印は、すでにプライバシーゾーンを設定していることを表します。
	[設定] ボタン	隠す場所にマスクを合わせるために、パン・チルト・ズームによって、サイズおよび位置を決定後に設定します。
	[削除] ボタン	選択したプライバシーゾーンを削除します。
	[キャンセル] ボタン	プライバシーゾーンのサイズと位置が元に戻ります。
④	コントロールパッド／ボタン	<p>画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）およびズームとフォーカスの調整を行います。</p> <p>画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>：コントロールパッドまたはボタンを左クリックします。</li> <li>パッドの外側をクリックするほど、カメラの動作速度が速くなります。</li> <li>また、マウスをドラッグして調節することもできます。</li> </ul> <p>ズーム・フォーカスの調節</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>：コントロールパッドを右クリックします。パッドの上半分をクリックするとズーム（倍率）が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。</li> <li>左半分をクリックするとフォーカス（焦点）が近く、右半分をクリックすると遠くなります。</li> <li>マウスホイール操作でもズームを調節できます。</li> </ul>
		コントロールパッド ボタン
⑤	ズーム	画像のズームを調節します。
	 ボタン	ズーム（倍率）を「広角」方向に調節します。
	 ボタン	ズーム（倍率）を1倍にします。
	 ボタン	ズーム（倍率）を「望遠」方向に調節します。
⑥	フォーカス	画像のフォーカスを調節します。
	 ボタン	自動的にフォーカス（焦点）を調節します。
	 ボタン	フォーカス（焦点）を「近」方向に調節します。
	 ボタン	フォーカス（焦点）を「遠」方向に調節します。
⑦	明るさ	画像の明るさを調節します。
	 ボタン	画像が暗くなります。
	 ボタン	お買い上げ時の明るさに戻ります。
	 ボタン	画像が明るくなります。

## 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

(2/2)

項番	項目	内容
⑧	プリセット	登録したプリセット（プルダウン表示）から選択します。
⑨	プリセット [移動] ボタン	プリセット番号の位置へ移動します。
⑩	[閉じる] ボタン	プライバシーゾーン設定画面を閉じます。

### メモ

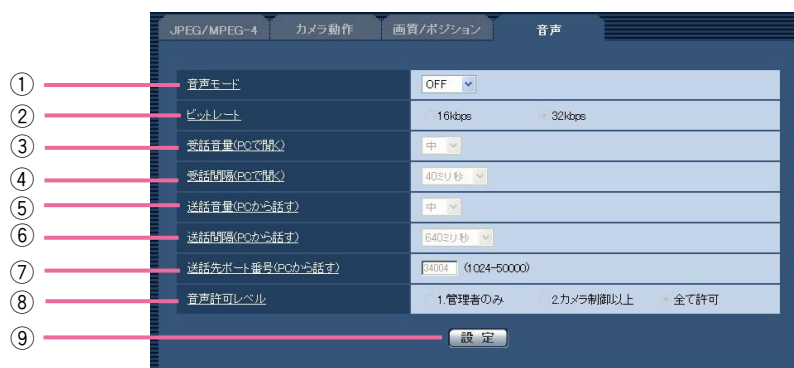
- プライバシーゾーンは、隠す物体に対して広めに設定してください。広角側でのゾーン精度を上げるため、ズーム倍率1倍～3倍の間でゾーン設定をしていただくことをお勧めします。
- パン、チルト、ズーム操作は、[画質/ポジション] タブの画像上でも操作できます。
- 「表示形式」の設定を「塗潰し」に設定した場合にゾーンNoを選択すると、画像中央にマスクが「濃いグレー」→「無」→「薄いグレー」→「無」→「濃いグレー」の順に点滅表示します。このとき、同じ画像内にすでに設定済みのゾーンが存在する場合は、設定済みゾーンは、「濃いグレー」→「薄いグレー」の順に点滅表示します。
- 「表示形式」の設定を「モザイク」に設定した場合にゾーンNoを選択すると、画像中央にマスクをモザイク表示します。このとき、同じ画像内にすでに設定済みのゾーンが存在する場合は、設定済みゾーンは、「濃いグレー」で表示します。



## 音声を設定する [音声]

カメラ設定ページの [音声] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、音声に関する情報を設定します。



（下線部は初期設定です）

（1/3）

項番	項目	内容
①	[音声モード]	本機とPC間で音声データの送信／受信を行うときの通信モードを設定します。  ✎メモ✎ ● MPEG-4画像の「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されている場合は、MPEG-4画像を見ながら送話操作を行うことはできません。この場合は、ライブ画面で [JPEG] ボタンをクリックし、JPEG配信に切り換えると送話操作ができるようになります。
	<u>OFF</u>	本機とPC間で音声データの送信／受信を行いません。したがって、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
	受話	本機からの音声データをPCで受信します。PCで画像と共に音声を聞くことができます。画像と音声は同期しません。
	送話	PCからの音声データを本機に送信します。本機に接続したスピーカーから音声を流すことができます。
	双方向（半二重）	受話・送話の両方ができます（トランシーバー方式）。ただし、音声の送信／受信を同時に行うことはできません。
	双方向（全二重）	受話・送話の両方を、同時に行うことができます。  ✎メモ✎ ● 使用状態によっては、ハウリングが発生する場合があります。その際は、PCから出力される音がPCのマイクに入らないようにしてください。
②	[ビットレート]	音声を送信／受信するときのビットレートを設定します。
	<u>16 kbps</u>	「配信量制御（ビットレート）」（☞70ページ）を小さい値で使用する場合に、JPEG画像更新やMPEG-4画像配信を優先するときに設定します。
	<u>32 kbps</u>	ビットレートを「32 kbps」に設定します。

# 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（2/3）

項番	項目	内容
③	[受話音量（PCで聞く）]	本機からの音声をPCで聞くときの音量を設定します。
	弱	音量を弱に設定します。
	中	音量を中に設定します。
	強	音量を強に設定します。
④	[受話間隔（PCで聞く）]	音声の受話間隔を以下から選択します。  <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 受話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。</li> </ul> <hr/>
	40ミリ秒	20ミリ秒／40ミリ秒／80ミリ秒／160ミリ秒
⑤	[送話音量（PCから話す）]	PCからの音声を本機から流すときの音量設定します。
	弱	音量を弱に設定します。
	中	音量を中に設定します。
	強	音量を強に設定します。
⑥	[送話間隔（PCから話す）]	音声の送話間隔を以下から選択します。  <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 送話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。</li> <li>● カメラのパン・チルト・ズーム操作を行っている場合や、複数のユーザーがアクセスしている場合は、一時的に音声途切れたり、雑音が出力されたりすることがあります。送話間隔の値を大きくすると音声の途切れや雑音をおさえることができます。</li> </ul> <hr/>
	640ミリ秒	160ミリ秒／320ミリ秒／640ミリ秒／1280ミリ秒
⑦	[送話先ポート番号（PCから話す）]	送話先ポート番号（PCから本機へ音声を送信するときの本機側のポート番号）を入力します。  <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 送話先ポート番号は、MPEG-4画像の「[配信方式]」を「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」に設定している場合に使用されます。「MPEG-4配信」が「OFF」または「配信方式」が「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」、「マルチキャスト」に設定（☞23ページ）されている場合は、設定できません。</li> </ul> <hr/>
	34004	設定可能範囲：1024～50000（偶数のみ）

## 画像・カメラ動作・音声に関する設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（3/3）

項番	項目	内容
⑧	[音声許可レベル]	音声の送信／受信を許可するアクセスレベルを設定します。アクセスレベルについては、64ページをお読みください。
	1.管理者のみ	管理者のみ許可します。
	2.カメラ制御以上	カメラ制御以上許可します。
	<u>全て許可</u>	全てのアクセスレベルに許可します。
⑨	[設定] ボタン	設定／変更をした場合は、必ずクリックします。

### メモ

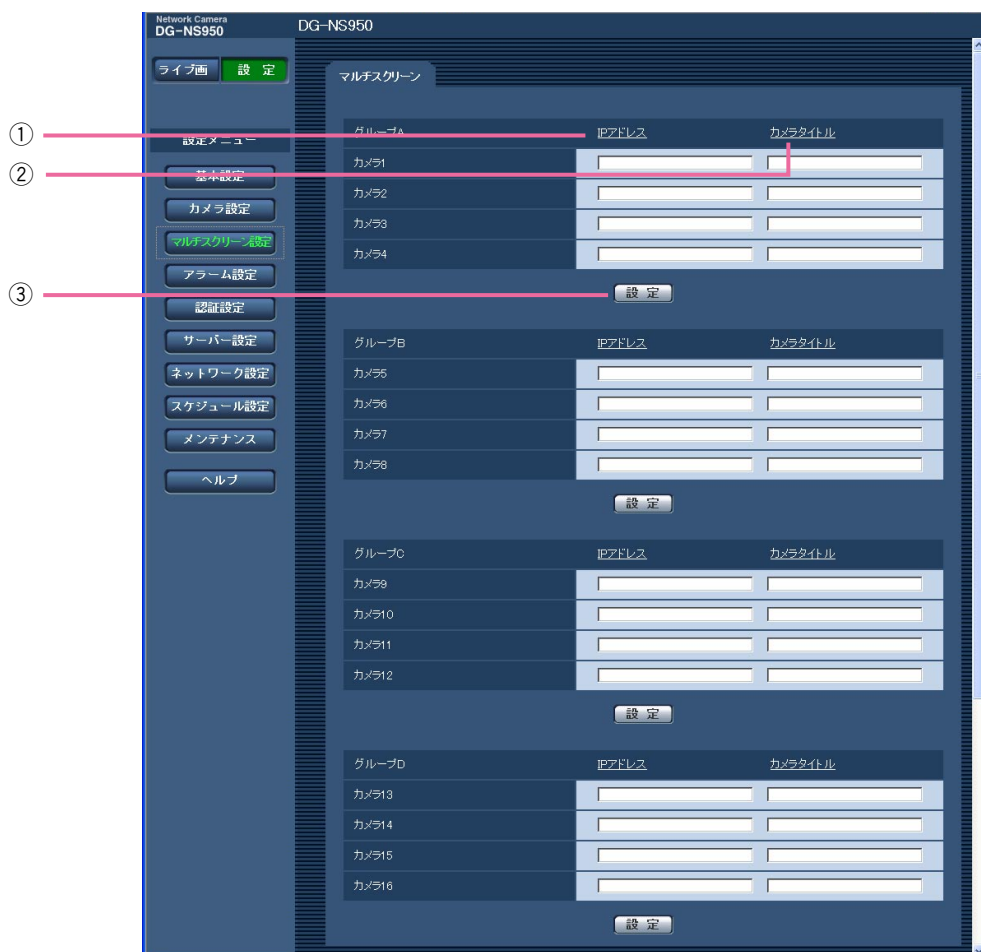
- 音声と画像は同期しません。そのため、若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声途切れる場合があります。

# マルチスクリーンの設定

マルチスクリーン設定ページでは、マルチスクリーンに表示するカメラを設定します。

## メモ

- マルチスクリーンで表示可能なカメラは以下になります。(2007年12月現在)  
DG-NF282シリーズ、DG-NS202シリーズ、RP (DG) -NP244シリーズ、RP (DG) -NP1000シリーズ、WV-NW474S、WV-NP472、WV-NS320、DG-NS950、DG-NW960、DG-NW484S



項番	項目	内容
①	[IPアドレス]	<p>マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大16台まで入力できます。</p> <p>表示するカメラのHTTPポート番号の設定を変更している場合は、「IPアドレス:ポート番号」を入力してください。</p> <p>入力例：192.168.0.10:8080 入力可能文字数：1～128文字</p> <hr/> <p><b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。(P.69ページ)</li> </ul>
②	[カメラタイトル]	<p>カメラの名称を入力します。入力した名称をマルチスクリーン画面に表示します。入力可能文字数：0～20文字</p>
③	[設定] ボタン	<p>設定／変更をした場合は、必ずクリックします。</p>

# アラームの設定

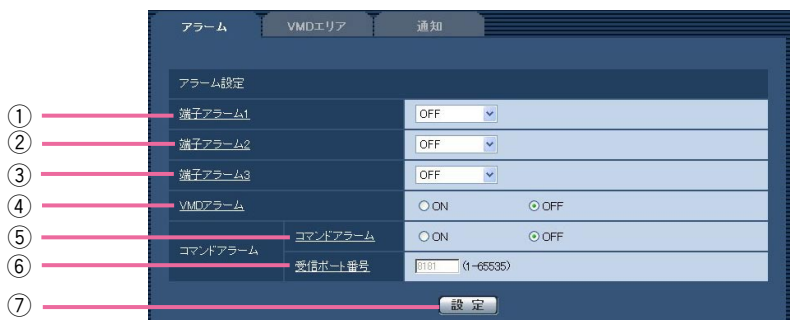
アラーム設定ページでは、アラーム動作、アラーム画像、アラームを検出するエリアの設定およびアラーム通知を設定します。アラーム設定ページは、[アラーム] タブ、[VMDエリア] タブ、[通知] タブで構成されています。端子アラーム1、2、3は、外部I/O端子1、2、3（☞取扱説明書『基本編』）を表します。

## アラーム動作を設定する [アラーム]

アラーム設定ページの [アラーム] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、アラーム動作を設定します。

アラーム連動動作、アラーム画像、アラーム出力端子の設定については、50、52、54ページをお読みください。



(下線部は初期設定です)

(1/2)

項番	項目	内容
①	[端子アラーム1]	端子アラーム1の入力を受け付けるかどうかを設定します。
	<u>OFF</u>	端子アラーム入力を受け付けません。
	アラーム入力	端子アラーム入力を受け付けます。
	白黒切換端子	端子の入力に従って、白黒／カラーを切り換えます。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>✎メモ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パトロール中に白黒切換端子の入力があると、パトロールは停止します。パトロール動作を継続する場合は、セルフリターンでパトロールを選択してください。</li> </ul> </div>
②	[端子アラーム2]	端子アラーム2の入力を受け付けるかどうかを設定します。
	<u>OFF</u>	端子アラーム入力を受け付けません。
	アラーム入力	端子アラーム入力を受け付けます。
	アラーム出力	「アラーム出力端子」(54ページ) で設定した内容に従ってアラーム出力します。
③	[端子アラーム3]	端子アラーム3の入力を受け付けるかどうかを設定します。
	<u>OFF</u>	端子アラーム入力を受け付けません。
	アラーム入力	端子アラーム入力を受け付けます。
	AUX出力	ライブ画ページに [AUX] ボタンを表示します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>✎メモ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●AUXとは操作者がライブ画ページから任意に操作 (OPEN／CLOSE) できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機と接続することで遠隔地から操作することが可能です。</li> </ul> </div>

# アラームの設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（2/2）

項番	項目	内容
④	[VMDアラーム]	モーションディテクターのアラーム動作を行うかどうかを設定します。 VMDエリアの設定方法については、56ページをお読みください。
	ON	VMDアラーム動作を行います。
	OFF	VMDアラーム動作を行いません。
⑤	[コマンドアラーム]	コマンドアラームの入力を受け付けるかどうかを設定します。コマンドアラームとは、他のカメラからの独自アラーム通知を受信する機能です。
	ON	コマンドアラーム入力を受け付けます。複数のカメラで連動してアラーム動作を行うことができます。
	OFF	コマンドアラーム入力を受け付けません。
⑥	[受信ポート番号]	コマンドアラームを受信するポート番号を入力します。
	<u>8181</u>	設定可能範囲：1～65535
⑦	[設定] ボタン	設定／変更をした場合は、必ずクリックします。

**!!重要!!**

- 「ON」に設定したとき、MPEG-4画像およびJPEG（QVGA）画像の画像更新速度が、最大15 fpsになります。

## アラーム連動動作を設定する [アラーム]

アラーム設定ページの [アラーム] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、アラームを検出したときの連動動作を設定します。

アラーム動作、アラーム画像、アラーム出力端子の設定については、49、52、54ページをお読みください。



# アラームの設定 (つづき)

(下線部は初期設定です)

(1/2)

項番	項目	内容
①	[端子アラーム1]	端子アラーム1を検出したときに連動する動作を設定します。
	<u>OFF</u>	端子アラーム1を検出しても、連動動作を行いません。
	1~256	あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム1を検出したときに、そのポジションに移動します。
	自動追従	端子アラーム1を検出すると自動追従を開始します。ホームポジションが設定されている場合は、ホームポジションに戻ってから自動追従を開始します。
	パトロール1※	端子アラーム1を検出するとパトロール1動作を開始します。
②	[端子アラーム2]	端子アラーム2を検出したときに連動する動作を設定します。
	<u>OFF</u>	端子アラーム2を検出しても、連動動作を行いません。
	1~256	あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム2を検出したときに、そのポジションに移動します。
	自動追従	端子アラーム2を検出すると自動追従を開始します。ホームポジションが設定されている場合は、ホームポジションに戻ってから自動追従を開始します。
	パトロール2※	端子アラーム2を検出するとパトロール2動作を開始します。
③	[端子アラーム3]	端子アラーム3を検出したときに連動する動作を設定します。
	<u>OFF</u>	端子アラーム3を検出しても、連動動作を行いません。
	1~256	あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム3を検出したときに、そのポジションに移動します。
	自動追従	端子アラーム3を検出すると自動追従を開始します。ホームポジションが設定されている場合は、ホームポジションに戻ってから自動追従を開始します。
	パトロール3※	端子アラーム3を検出するとパトロール3動作を開始します。
④	[VMDアラーム]	モーションディテクターによるアラームを検出したときに連動する動作を選択します。
	<u>OFF</u>	モーションディテクターによるアラームを検出しても、連動動作を行いません。
	1~256	あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、モーションディテクターによるアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。
	自動追従	モーションディテクターによるアラームを検出すると自動追従を開始します。ホームポジションが設定されている場合は、ホームポジションに戻ってから自動追従を開始します。
	パトロール1※	モーションディテクターによるアラームを検出するとパトロール1動作を開始します。
⑤	[コマンドアラーム]	コマンドアラームを検出したときに連動する動作を選択します。
	<u>OFF</u>	コマンドアラームを検出しても、連動動作を行いません。
	1~256	あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、コマンドアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。
	自動追従	コマンドアラームを検出すると自動追従を開始します。ホームポジションが設定されている場合は、ホームポジションに戻ってから自動追従を開始します。
	パトロール1※	コマンドアラームを検出するとパトロール1動作を開始します。

※パトロール動作が記憶されている場合のみ表示されます。

# アラームの設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（2/2）

項番	項目	内容
⑥	[設定] ボタン	設定した場合は、必ずクリックします。

## アラーム画像を設定する [アラーム]

アラーム設定ページの [アラーム] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、FTPサーバーへ送信するアラーム画像を設定します。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、FTPサーバーの設定が必要です。（☞設定メニューの表示・操作：67ページ）

アラーム動作、アラーム連動動作、アラーム出力端子に関する設定については、49、50、54ページをお読みください。

### !!重要!!

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- [SDメモリーカード] タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、アラームを検出しても画像をFTPサーバーへ送信することはできません。（☞13ページ）
- 画像更新速度の設定が高く、複数のユーザーが画像配信している場合、通知や保存のタイミングがずれることがあります。その場合は、画像更新速度の設定を低くしてください。



（下線部は初期設定です）

（1/2）

項番	項目	内容
①	[FTP設定へ]	クリックするとサーバー設定ページの [FTP] タブを表示します。（☞67ページ）
②	[アラーム画像送信]	アラームを検出したときに、FTPサーバーへ画像を送信するかどうかを設定します。
	ON	FTPサーバーへアラーム画像を送信します。
	OFF	FTPサーバーへアラーム画像を送信しません。



# アラームの設定 (つづき)

(下線部は初期設定です)

(2/2)

項番	項目	内容
③	[ディレクトリー名]	画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。 例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。 入力可能文字数：0～256文字
④	[ファイル名]	FTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。 ファイル名は、「入力したファイル名+日時（年月日時分秒）+連続番号」の形式になります。 入力可能文字数：1～32文字
⑤	[ポストアラーム]	アラーム画像の更新速度、送信する画像枚数を以下から選択します。
	画像更新速度 <u>1 fps</u>	アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。 0.1 fps/0.2 fps/0.33 fps/0.5 fps/1 fps
	画像枚数 <u>100枚</u>	送信する画像の枚数を以下から選択します。 1枚/2枚/3枚/4枚/5枚/6枚/7枚/8枚/9枚/10枚/20枚/30枚/50枚/100枚/200枚/300枚/500枚/1000枚/2000枚/3000枚/5000枚
	録画時間	設定した「画像更新速度」と「画像枚数」で保存するときの所要時間の目安を表示します。
⑥	[解像度]	アラーム画像の解像度を選択します。FTPサーバーへ送信する画像およびアラーム通知メールに添付する画像の解像度をQVGA/VGAのどちらかに設定します。
	<u>VGA</u>	QVGA/VGA
⑦	[設定] ボタン	設定/変更をした場合は、必ずクリックします。

## アラーム出力端子を設定する [アラーム]

アラーム設定ページの [アラーム] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、アラームを検出したときのアラーム出力端子を設定します。

「アラーム設定」の「端子アラーム2」を「アラーム出力」に設定している場合のみアラーム出力端子の設定を行うことができます。アラーム動作、アラーム連動動作、アラーム画像に関する設定については、49、50、52ページをお読みください。



（下線部は初期設定です）

項番	項目	内容
①	[アラーム出力連動設定]	アラームを検出したときに、アラーム出力端子に出力するかどうかを設定します。
	ON	アラーム出力端子に出力します。
	OFF	アラーム出力端子に出力しません。
②	[アラーム出力端子]	アラームを検出したときのアラーム出力端子の動作を、ラッチ／パルスのどちらかに設定します。
	ラッチ	アラームを検出したときに、ライブ画ページの [アラーム発生通知] ボタンをクリックするまで、アラーム出力時の端子が「アラーム出力」で設定した状態になります。
	パルス	アラームを検出したときに、「アラーム出力時間」で設定した秒時間、アラーム出力時の端子が「アラーム出力」で設定した状態になります。
③	[アラーム出力]	アラーム出力端子からアラームを出力するときの出力状態を設定します。
		<p>✎メモ✎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「OPEN」に設定し、本機の電源を入れた場合は、約20秒間アラームを出力します。</li> </ul>
	OPEN	アラーム出力時の端子をOPEN状態にします（通常はCLOSE）。
	CLOSE	アラーム出力時の端子をCLOSE状態にします（通常はOPEN）。
④	[アラーム出力時間]	[アラーム出力端子] で「パルス」を選択した場合は、アラーム出力端子からアラームを出力する時間を入力します。
	1秒	1～120秒
⑤	[設定] ボタン	設定／変更した場合は、必ずクリックします。

## アラームの設定（つづき）

# AUX名称を変更する【アラーム】

アラーム設定ページの【アラーム】タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、ライブ画ページの【AUX】の名称を変更します。

アラーム設定の端子アラーム3をAUXに設定している場合にのみ、AUXの名称を変更することができます。

AUX名称

① AUX(10文字まで) [AUX]

② OPEN(5文字まで) [OPEN]

③ CLOSE(5文字まで) [CLOSE]

④ [設定]

項番	項目	内容
①	[AUX (10文字まで)] AUX	ライブ画ページの【AUX】の名称を入力します（10文字まで）。
②	[OPEN (5文字まで)] OPEN	ライブ画ページの【AUX】ボタンの「OPEN」の名称を入力します（5文字まで）。
③	[CLOSE (5文字まで)] CLOSE	ライブ画ページの【AUX】ボタンの「CLOSE」の名称を入力します（5文字まで）。
④	[設定] ボタン	設定／変更した場合は、必ずクリックします。

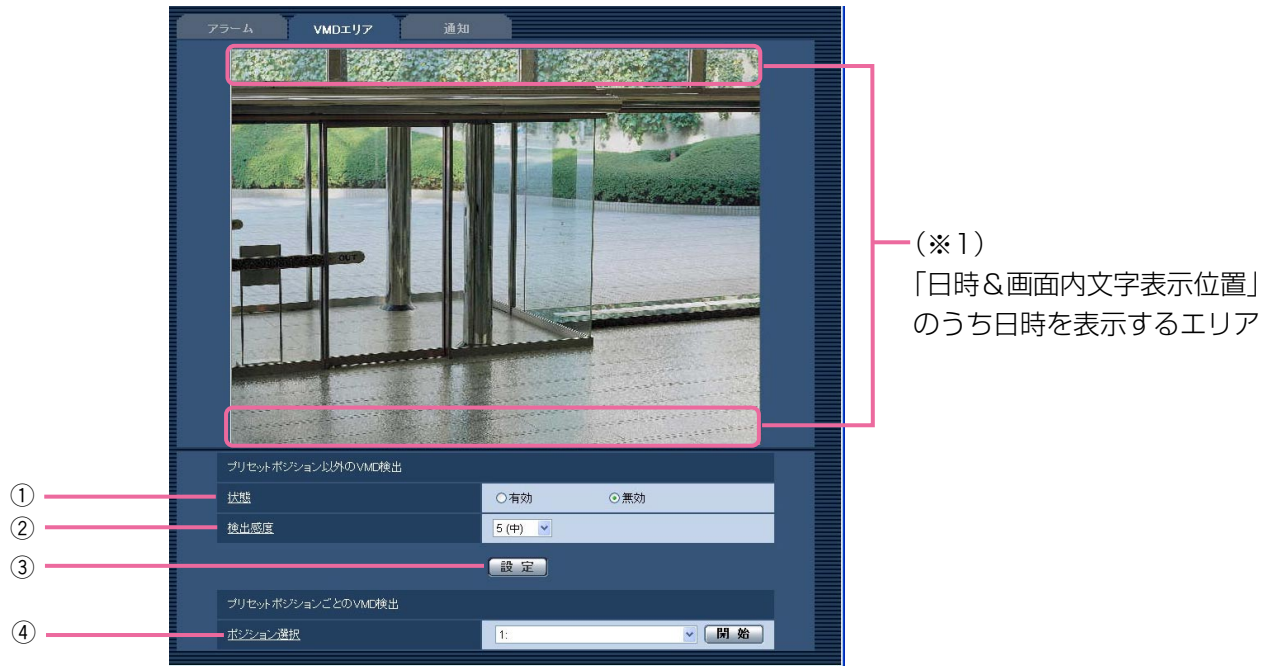
### メモ

- iモード端末では、変更した名称は反映されません。

# アラームの設定（つづき）

## VMDを設定する [VMDエリア]

アラーム設定ページの [VMDエリア] タブをクリックします。（※設定メニューの表示・操作：5、6ページ）  
ここでは、モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出するときのエリアを設定します。  
エリアは、プリセットポジションごとに最大256か所設定できます。設定したエリア内で物体の動きをとらえると、アラームが発生します。カメラの向きがプリセットポジション以外の位置の場合にも、アラーム動作を行うように設定できます。



### ■プリセットポジション以外のVMD検出

（下線部は初期設定です）

項番	項目	内容
①	[状態]	カメラの向きがプリセットポジション以外の場合に、VMD検出を行うかどうかを有効／無効で設定します。
	有効	VMD検出を行います。
	無効	VMD検出を行いません。
②	[検出感度]	カメラの向きがプリセットポジション以外の場合に、エリア内の変化を検出するときの感度を以下から選択します。
	<u>5 (中)</u>	1 (最高) / 2 / 3 / 4 (高) / 5 (中) / 6 (低)
③	[設定] ボタン	設定／変更した場合は、必ずクリックします。

### ■プリセットポジションごとのVMD検出

項番	項目	内容
④	[ポジション選択]	プリセットポジションごとに、VMD検出エリアを設定します。 設定可能範囲：1～256
	[開始] ボタン	VMDエリア設定画面を表示します。（※57ページ）

# アラームの設定（つづき）

## //重要//

- 電子ズームの設定が必要な場合は、電子ズーム設定後にVMDエリアを設定してください。

## メモ

- 「日時&画面内文字表示位置」（☞9ページ）のうち日時を表示するエリア（※1）は、VMDエリアには設定できません。
- モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出したときに、確認用として [アラーム発生通知] ボタンを表示（☞取扱説明書『操作編』）します。[アラーム発生通知] ボタンを表示する場合は、[アラーム] タブの「VMDアラーム」を「ON」に設定してください。
- 端子アラームでアラーム入力を受け付けたとき、およびコマンドアラームを受け付けたときは、[アラーム発生通知] ボタンを表示します。
- 基本設定ページの [基本] タブで [状態通知間隔] を「リアルタイム」に設定（☞9ページ）している場合でも、ご利用のネットワーク環境によっては、通知が遅れることがあります。

## VMD検出エリアを設定する

プリセットポジションごとにVMD検出エリアを設定します。

### 1 VMD検出エリアを設定するプリセットポジション番号を選択する

### 2 【開始】 ボタンをクリックする

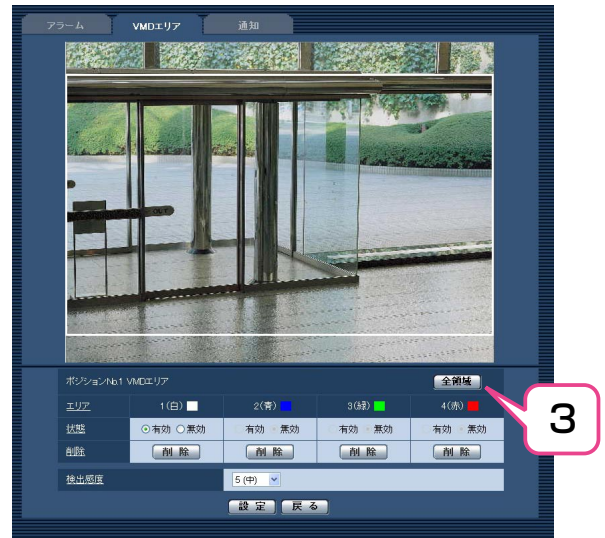
- 選択したプリセットポジション番号のVMDエリア設定画面が表示されます。



# アラームの設定 (つづき)

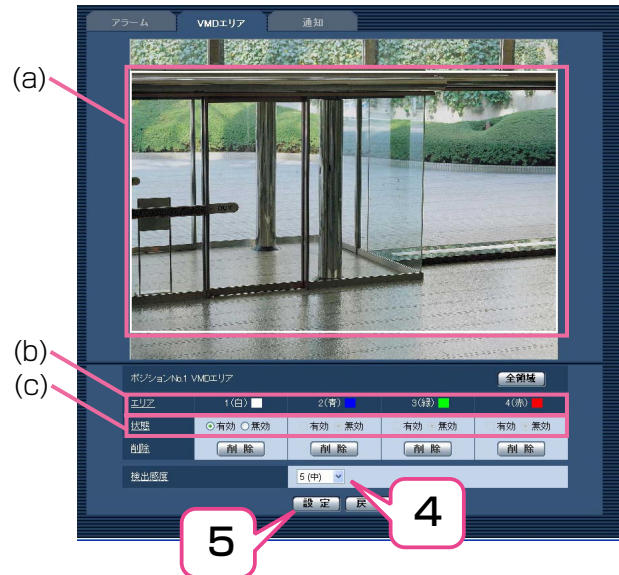
## 3 [全領域] ボタンをクリックする

- 画像上でマウスをドラッグして、VMD検出エリアを指定することもできます。
- (a) VMD検出エリアが全領域になり、「1 (白)」に設定され、枠を表示します。
- (b) VMD検出エリア番号は1番から順に設定され、エリア番号の横の色表示は、対応する枠色を表しています。
- (c) VMD検出エリアに設定する枠色の [状態] が [有効] になります。



## 4 [検出感度] を「1 (最高) / 2 / 3 / 4 (高) / 5 (中) / 6 (低)」から選択する

- 検出感度はすべてのエリアで共通です。



## 5 [設定] ボタンをクリックする

- 設定内容が本機に反映されます。

## 6 VMD検出エリアを無効にする場合は、該当するエリアの [状態] を [無効] に変更し、[設定] ボタンをクリックする

- 無効になった枠色が点線になります。
- 無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

## 7 VMD検出エリアを削除する場合は、削除するエリアの [削除] ボタンをクリックする

- 削除したエリアの枠が消去されます。

## 8 [設定] ボタンをクリックする

- 設定内容が本機に反映されます。





# アラームの設定（つづき）

## メール通知を設定する [通知]

アラーム設定ページの [通知] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)

ここでは、アラーム検出および自己診断したときのメール通知の方法を設定します。メール通知を行うには、メールサーバーの設定が必要です。(☞66ページ)



### ■メール通知設定

(下線部は初期設定です)


(1/2)

項番	項目	内容
①	[メール設定へ]	クリックすると、サーバー設定ページの [メール] タブを表示します。(☞66ページ)
②	[メール通知]	アラーム検出および自己診断したときにメール通知をするかどうかを設定します。
	ON	メール通知します。
	OFF	メール通知しません。
③	[画像添付]	アラーム検出によるメール送信時に画像を添付するかどうかを設定します。
		<p>✎メモ✎</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• [アラーム] タブの「解像度」(☞53ページ) で設定した解像度の画像を添付して通知します。</li></ul>
	ON	メールに画像を添付します。
	OFF	メールに画像を添付しません。

## アラームの設定（つづき）

### ■メール通知先設定

(2/2)

項番	項目	内容
④	[メール通知先 1,2,3,4]	通知先のメールアドレスを設定します。通知先は4件まで設定できます。
	アラーム	「アラーム」欄にチェックを入れると、アラームを検出したときにメール通知します。
	診断	「診断」欄にチェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知／空き容量不足／認識エラーをメール通知します。
	通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを入力します。 入力可能文字数：3～128文字
	[削除] ボタン	設定したメールアドレスを削除します。
⑤	[メール件名]	アラーム検出によるメール通知の件名を入力します。 入力可能文字数：0～50文字
⑥	[メール本文]	アラーム検出によるメール通知の本文を入力します。 入力可能文字数：0～200文字
		<hr/> <p> <b>メモ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● [SDメモリーカードの空き容量がなくなったときは「SDメモリーカードフル」、SDメモリーカードの認識エラーが発生したときは、「SDメモリーカード認識エラー」というメール本文で送信します。</li></ul> <hr/>



# アラームの設定（つづき）

## 独自アラーム通知を設定する [通知]

アラーム設定ページの [通知] タブをクリックします。（※設定メニューの表示・操作：5、6ページ）  
ここでは、独自アラーム通知に関する設定をします。



### ■独自アラーム通知設定

（下線部は初期設定です）

(1/2)

項番	項目	内容
①	[独自アラーム通知]	アラーム検出時の通知、およびSDメモリーカードに関する情報の通知をどうかを設定します。  <b>メモ</b> ● 独自アラームの通知は、「独自アラーム通知先1」から順に通知します（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。
	ON	独自アラーム通知をします。
	OFF	独自アラーム通知をしません。
②	[通知先ポート番号]	独自アラーム通知先の受信ポート番号を入力します。
	<u>1818</u>	入力可能範囲：1～65535
③	[リトライ回数]	独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を選択します。
	<u>2回</u>	0～30回
④	[設定] ボタン	設定した場合は、必ずクリックします。

## アラームの設定（つづき）

(2/2)

項番	項目	内容
⑤	[独自アラーム通知先 1～8]	独自アラーム通知先のIPアドレスを設定します。通知先は8件まで設定できません。  <div style="border: 1px solid gray; background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p><b>!!重要!!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しないと、独自アラーム通知が遅延することがあります。</li> <li>●通知先はホスト名では設定できません。必ずIPアドレスで指定してください。</li> </ul> </div>
	アラーム	「アラーム」欄にチェックを入れると、アラーム発生時に設定した通知先に通知します。
	診断	「診断」欄にチェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知／空き容量不足／認識エラーを設定した通知先に通知します。
	通知先IPアドレス	通知先のIPアドレスを入力します。
	[削除] ボタン	設定した通知先を削除します。
⑥	[設定] ボタン	設定した場合は、必ずクリックします。

# 認証設定

認証設定ページでは、PCおよびiモード端末から本機にアクセスできるユーザーまたはPC（IPアドレス）を制限する認証を設定します。

認証設定ページは、[ユーザー認証] タブと [ホスト認証] タブで構成されています。

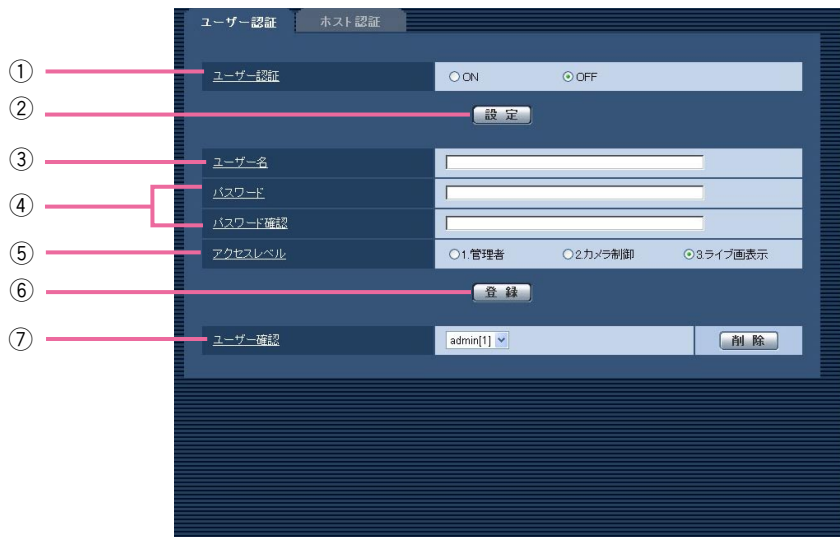
## ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]

認証設定ページの [ユーザー認証] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)

ここでは、PCおよびiモード端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証を設定をします。最大16ユーザーまで登録できます。

### メモ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、本機にアクセスできなくなります。しばらくしてからアクセスしてください。



(下線部は初期設定です)

(1/2)

項番	項目	内容
①	[ユーザー認証]	ユーザー認証をするかどうかを設定します。
	ON	ユーザー認証します。
	OFF	ユーザー認証しません。
②	[設定] ボタン	設定／変更した場合は、必ずクリックします。
③	[ユーザー名]	ユーザー名を入力します。 入力可能文字：1～32文字
④	[パスワード] ／ [パスワード確認]	パスワードを入力します。 入力可能文字：4～32文字  <hr/> <b>メモ</b> ● 登録済みのユーザー名を入力し、[登録] ボタンをクリックすると、ユーザー情報を上書きします。

# 認証設定 (つづき)

(下線部は初期設定です)

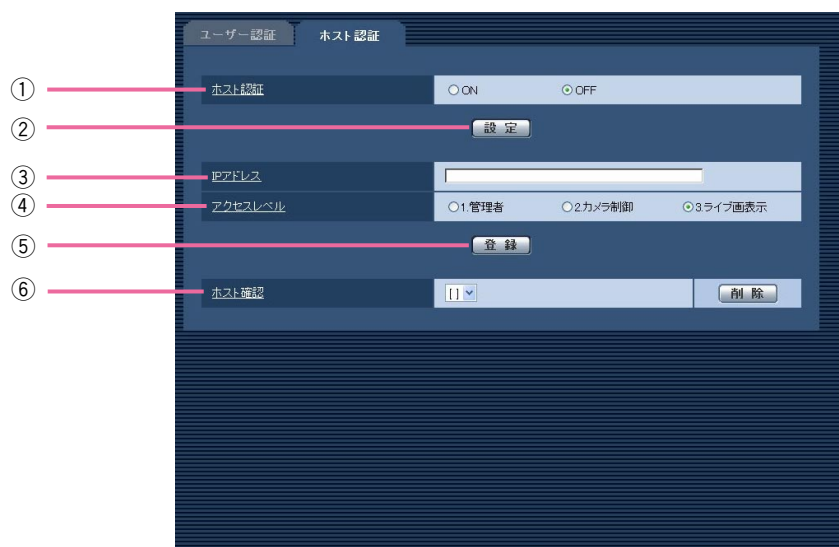
(2/2)

項番	項目	内容
⑤	[アクセスレベル]	アクセスレベルを設定します。  <b>!! 重要 !!</b> ● アクセスレベル「1.管理者」のユーザーをすべて削除すると、設定ができなくなります。
	1.管理者	すべての機能を使用できる管理者としてユーザー登録します。管理者は各種機能設定および操作が可能です。
	2.カメラ制御	画像表示、本機の操作のみができるユーザーとして登録します。
	3.ライブ画表示	画像表示のみができるユーザーとして登録します。
⑥	[登録] ボタン	設定/変更した場合は、必ずクリックします。
⑦	[ユーザー確認]	[✓] をクリックすると、登録したユーザーを表示します。ユーザーの表示形式は、「登録したユーザー名 [アクセスレベル]」です。
	[削除] ボタン	表示したユーザーを削除します。

## ホスト認証を設定する [ホスト認証]

認証設定ページの [ホスト認証] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)

ここでは、本機にアクセスできるPC (IPアドレス) を制限するホスト認証を設定します。



## 認証設定 (つづき)

(下線部は初期設定です)

項番	項目	内容
①	[ホスト認証]	ホスト認証をするかどうかを設定します。  <b>!!重要!!</b> ● ホスト認証を設定する前に、アクセスを許可するPCのIPアドレスとアクセスレベルを登録してください。IPアドレスを登録をする前に [ホスト認証] を「ON」に設定すると、本機へアクセスできなくなります。
	ON	ホスト認証します。
	OFF	ホスト認証しません。
②	[設定] ボタン	設定した場合は、必ずクリックします。
③	[IPアドレス]	本機へのアクセスを許可するIPアドレスを入力します。ホスト名の指定はできません。  <b>メモ</b> ● 「IPアドレス/サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。 例えば「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、192.168.0.0.~192.168.0.255のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機にアクセスできます。 ● 登録済みのIPアドレスを入力し、[登録] ボタンをクリックすると、ホスト情報を上書きします。
	[アクセスレベル]	アクセスレベルを設定します。アクセスレベルについては、64ページをお読みください。
④	1.管理者	すべての機能を使用できるPCとしてIPアドレスを登録します。
	2.カメラ制御	画像表示、本機の操作のみができるPCとしてIPアドレスを登録します。
	3.ライブ画表示	画像表示のみができるPCとしてIPアドレスを登録します。
⑤	[登録] ボタン	登録済みのIPアドレスを入力し、クリックすると、ホスト情報を上書きします。
⑥	[ホスト認証]	[√] をクリックすると、登録しているIPアドレスを表示します。IPアドレスの表示形式は、「登録したIPアドレス [アクセスレベル]」です。
	[削除] ボタン	表示したIPアドレスを削除します。

# サーバーの設定

サーバー設定ページでは、メールサーバー、FTPサーバーを設定します。  
サーバー設定ページは、[メール] タブと [FTP] タブで構成されています。

## メールサーバーを設定する [メール]

サーバー設定ページの [メール] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)  
ここでは、アラームメールを送信するメールサーバーを設定します。



(下線部は初期設定です)

(1/2)

項番	項目	内容
①	[SMTPサーバーアドレス]	電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。サーバーのホスト名を入力するには、ネットワーク設定ページの [ネットワーク] タブでDNSを設定する必要があります。(☞69ページ) 入力可能文字数：1～128文字
②	[SMTPポート番号]	メールを送信するポート番号を入力します。 <u>25</u> 入力可能範囲：1～65535
③	[POPサーバーアドレス]	[認証方法] で「POP before SMTP」を選択した場合は、POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。サーバーのホスト名を入力するには、ネットワーク設定ページの [ネットワーク] タブでDNSを設定する必要があります。(☞69ページ) 入力可能文字数：1～128文字
④	認証設定 [認証方法]	電子メールを送信するときの認証方法を設定します。  <b>メモ</b> ● 認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	<u>なし</u>	認証しません。
	POP before SMTP	電子メールを送信する前に、メールを受信するPOP認証をします。
	SMTP	SMTP認証をします。
⑤	認証設定 [ユーザー名]	ログインするユーザー名を入力します。 入力可能文字数：1～32文字
⑥	認証設定 [パスワード]	ログインするパスワードを入力します。 入力可能文字数：0～32文字

# サーバーの設定 (つづき)

(2/2)

項番	項目	内容
⑦	[送信者メールアドレス]	送信元のメールアドレスを入力します。入力したメールアドレスは、受信メールの「From (差出人)」欄に表示されます。 入力可能文字数：3～128文字
⑧	[設定] ボタン	設定／変更した場合は、必ずクリックします。

## FTPサーバーを設定する [FTP]

サーバー設定ページの [FTP] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)  
ここでは、画像を送信するFTPサーバーを設定します。



(下線部は初期設定です)

項番	項目	内容
①	[FTPサーバーアドレス]	画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。FTPサーバーのホスト名を入力するには、ネットワーク設定ページの [ネットワーク] タブでDNSを設定する必要があります。(☞69ページ) 入力可能文字数：1～128文字
②	[ユーザー名]	ログインするユーザー名を入力します。 入力可能文字数：1～32文字
③	[パスワード]	ログインするパスワードを入力します。 入力可能文字数：0～32文字
④	[コントロールポート番号]	FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。 21 入力可能範囲：1～65535
⑤	[モード]	画像を送信するときのFTPの通信モードを設定します。  ☞メモ☞ ●通常はパッシブモードに設定してください。パッシブモードで接続できない場合は、アクティブモードに設定してください。
	パッシブモード	FTPの通信モードをパッシブモードに設定します。
	アクティブモード	FTPの通信モードをアクティブモードに設定します。
⑥	[設定] ボタン	設定／変更した場合は、必ずクリックします。

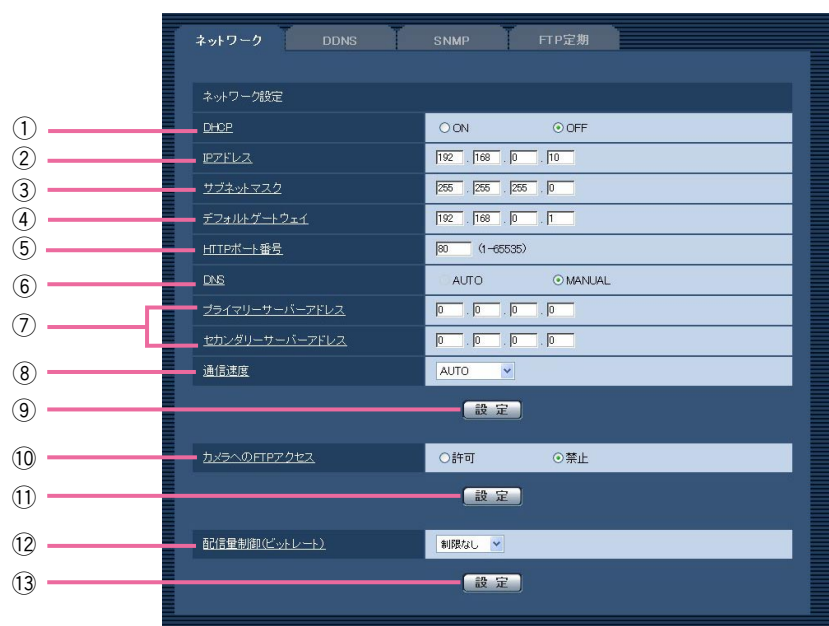
# ネットワークの設定

ネットワーク設定ページでは、本機のネットワーク機能、DDNS（Dynamic DNS）機能を設定します。ネットワーク設定ページは、[ネットワーク] タブ、[DDNS] タブ、[SNMP] タブ、[FTP定期] タブで構成されています。

## ネットワークを設定する [ネットワーク]

ネットワーク設定ページの [ネットワーク] タブをクリックします。（※設定メニューの表示・操作：5、6ページ）本機のネットワークを設定するには、以下の情報をネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーに確認してください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTPポート番号
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）



### ■ネットワーク設定

(下線部は初期設定です)

(1/3)

項番	項目	内容
①	[DHCP]	DHCP機能を使用するかどうかを設定します。DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラがおなじIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。
	<u>ON</u>	DHCP機能を使用します。
	<u>OFF</u>	DHCP機能を使用しません。
②	[IPアドレス]	DHCP機能を使用しない場合は、本機のIPアドレスを入力します。PCおよび他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。
	<u>192.168.0.10</u>	



# ネットワークの設定（つづき）

（下線部は初期設定です）

（2/3）

項番	項目	内容
③	[サブネットマスク]	DHCP機能を使用しない場合は、本機のサブネットマスクを入力します。
	<u>255.255.255.0</u>	
④	[デフォルトゲートウェイ]	DHCP機能を使用しない場合は、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。
	<u>192.168.0.1</u>	
⑤	[HTTPポート番号]	HTTPポート番号を個別に入力します。
	<u>80</u>	<p>☞メモ☞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●HTTPポート番号は本機で使用する20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、995、10669、10670以外のポート番号を使用してください。</li> </ul> <p>入力可能範囲：1～65535</p>
⑥	[DNS]	DNSサーバーのアドレスを自動で取得するか、または手動で入力するかを設定します。
	<u>AUTO</u>	DHCP機能を使用する場合は、自動的にDNSサーバーアドレスを取得します。
	<u>MANUAL</u>	DHCP機能を使用しない場合は、DNSサーバーのアドレスを入力します。[プライマリサーバーアドレス] および [セカンダリサーバーアドレス] を入力する必要があります。（DHCP機能を使用する場合も入力できます）
⑦	[プライマリサーバーアドレス]、[セカンダリサーバーアドレス]	[DNS] を [MANUAL] で設定した場合は、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。
⑧	[通信速度]	通信速度を選択します。
	<u>AUTO</u>	自動設定します。
	100 M-FULL	100 Mbps 全二重に設定します。
	100 M-HALF	100 Mbps 半二重に設定します。
	10 M-FULL	10 Mbps 全二重に設定します。
	10 M-HALF	10 Mbps 半二重に設定します。
⑨	[設定] ボタン	設定／変更した場合は、必ずクリックします。

## ■カメラへのFTPアクセス

⑩	[カメラへのFTPアクセス]	FTPクライアントからカメラへのFTPアクセスを許可するかどうかを設定します。
	許可	FTPクライアントからカメラへのFTPアクセスを許可します。
	禁止	FTPクライアントからカメラへのFTPアクセスを禁止します。
⑪	[設定] ボタン	設定／変更した場合は、必ずクリックします。

# ネットワークの設定 (つづき)

## ■配信量制御 (ビットレート)

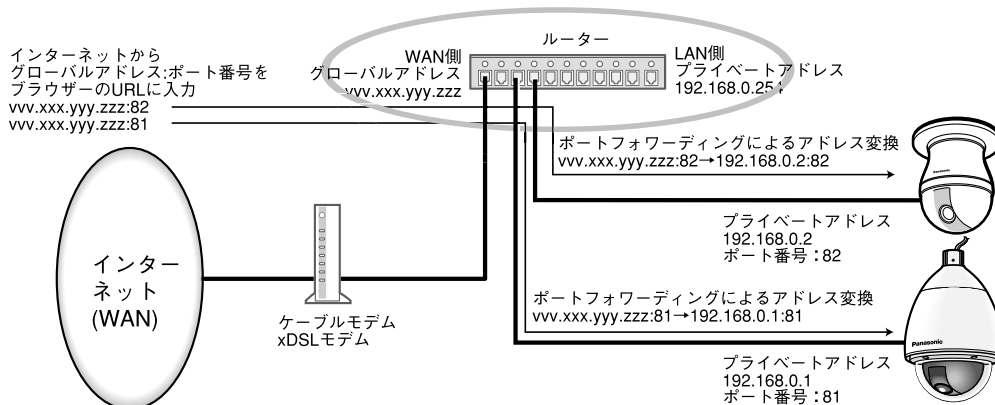
(下線部は初期設定です)

(3/3)

項番	項目	内容
⑫	[配信量制御 (ビットレート)]	データの配信量を以下から選択します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「64 kbps」に設定した場合は、[音声] タブの「音声モード」を「OFF」に設定してください。(※45ページ)</li> <li>JPEG画像でライブ画像配信とFTP定期送信とを同時に動作させるには、「128 kbps」以上のビットレートを選択してください。</li> <li>配信量を低く設定した場合、使用環境によっては、ワンショット機能が動作しない場合があります。その場合は、JPEG設定の「解像度」を「QVGA」に設定するか、または「画質」を低く設定してください。</li> </ul> </div>
	<u>制限なし</u>	制限なし / 64 kbps / 128 kbps / 256 kbps / 512 kbps / 1024 kbps / 2048 kbps / 4096 kbps
⑬	[設定] ボタン	設定 / 変更した場合は、必ずクリックします。

### メモ

- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- DHCP機能を使用している場合でも、IPアドレス、およびデフォルトゲートウェイのアドレスに、以下のアドレスを設定しないでください。
  - ・ 0.\*.\*
  - ・ \*.\*.\*.0
  - ・ 255.\*.\*
  - ・ \*.\*.\*.255
  - ・ 127.0.0.1
  - ・ クラスD アドレス (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
  - ・ クラスE アドレス (240.0.0.0 ~ 255.255.255.255)
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、静的IPマスカレードやNATアドレス変換などがあります。これらの機能はルーターに設定します。
- ルーターに本機を接続してインターネット経由で本機と接続するには、ネットワークカメラごとに個別のポート番号を設定し、ポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ご使用になるルーターの取扱説明書をお読みください。



## ネットワークの設定（つづき）

# DDNSを設定する [DDNS]

ネットワーク設定ページの [DDNS] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、DDNS機能を設定します。

グローバルIPアドレスをDHCPで取得し、本機にインターネット経由してアクセスするには、DDNS機能を設定する必要があります。

DDNS機能を使用すると、「DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net」というアドレスを使用してアクセスします。DDNSのサービスを受けるためには、専用のサーバーに登録してください。専用サーバーへの登録方法については、ソフトウェア付属のReadmeをお読みください。



（下線部は初期設定です）

項番	項目	内容
①	[DDNS]	DDNS機能を使用するかどうかを設定します。
	ON	DDNS機能を使用します。
	OFF	DDNS機能を使用しません。
②	[ホスト名]	使用するホスト名を入力します。 入力可能文字数：1～64文字
③	[ユーザー名]	ログインするユーザー名を入力します。 入力可能文字数：1～32文字
④	[パスワード]	ログインするパスワードを入力します。 入力可能文字数：0～32文字
⑤	[アクセス間隔]	DDNSサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。
	1時間	1分／10分／30分／1時間／6時間／24時間
⑥	[設定] ボタン	設定した場合は、必ずクリックします。

# SNMPを設定する [SNMP]

ネットワーク設定ページの [SNMP] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、SNMP機能を設定します。

SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。

SNMP機能を使用するには、設定する内容をネットワーク管理者に確認してください。



項番	項目	内容
①	[コミュニティ名]	監視の対象となるコミュニティ名を入力します。 入力可能文字数：0～32文字  <b>!!重要!!</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● コミュニティ名が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。 SNMP機能を使用するには、必ずコミュニティ名を入力してください。</li></ul>
②	[機器名]	SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。 入力可能文字数：0～32文字
③	[機器の物理的位置]	本機を設置した場所を入力します。 入力可能文字数：0～32文字
④	[連絡先]	管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。 入力可能文字数：0～255文字
⑤	[設定] ボタン	設定した場合は、必ずクリックします。

## FTP定期送信を設定する [FTP定期]

ネットワーク設定ページの [FTP定期] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)

ここでは、FTPサーバーへ画像を定期送信するための設定をします。

FTP定期送信するには、FTPサーバーを設定する必要があります。(☞67ページ)

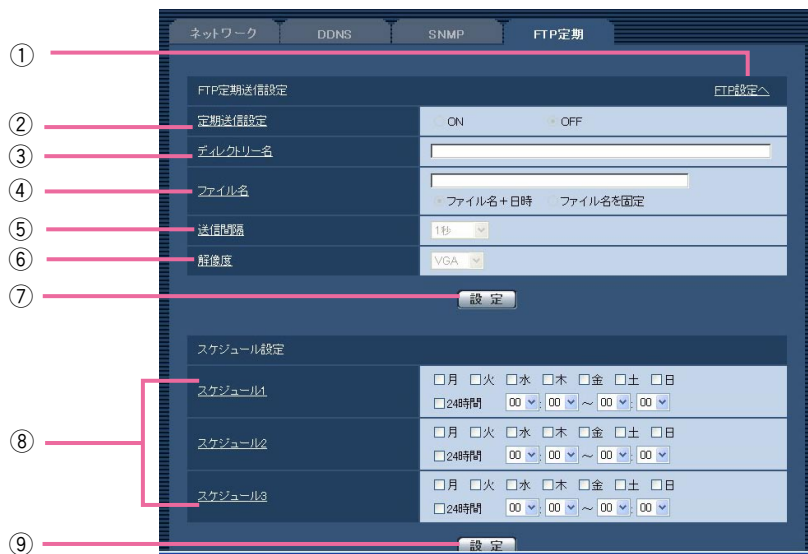
定期送信スケジュールの設定については、75ページをお読みください。

### !!重要!!

- ご利用のネットワーク環境によっては、指定した間隔で送信できないことがあります。
- 基本設定ページの [SDメモリーカード] タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合は、「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。(☞13ページ)
- FTP定期送信とアラーム画像送信を同時に設定すると、アラーム画像送信を優先します。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

### メモ

- 基本設定ページの [SDメモリーカード] タブで「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」すると、FTP定期送信に失敗したときに、SDメモリーカードへ画像を自動保存します。(☞13ページ)



### ■FTP定期送信設定

(下線部は初期設定です)

(1/2)

項番	項目	内容
①	[FTP設定へ]	クリックすると、サーバー設定ページの [FTP] タブを表示します。(☞67ページ)
②	[定期送信設定]	画像をFTPサーバーへ定期送信するかどうかを設定します。「ON」に設定した場合は、FTPサーバーを設定してください。(☞67ページ)
	ON	画像をFTPサーバーへ定期送信します。
	OFF	画像をFTPサーバーへ定期送信しません。

# ネットワークの設定 (つづき)

## ■FTP定期送信設定

(下線部は初期設定です)

(2/2)

項番	項目	内容
③	[ディレクトリー名]	送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定するには、「/img」と入力します。 入力可能文字数：1～256文字
④	[ファイル名]	送信するファイル名を入力し、FTPサーバーに保存するファイル名の形式を設定します。 入力可能文字数：1～32文字
	ファイル名+日時	ファイル名の形式を「入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）+00.jpg」とします。
	ファイル名を固定	入力したファイル名をそのまま使用します。送信したファイルは、常に同じ名称のファイルとして上書き保存します。
⑤	[送信間隔]	送信間隔を以下から選択します。
	<u>1秒</u>	1秒／2秒／3秒／4秒／5秒／6秒／10秒／15秒／20秒／30秒／1分／2分／3分／4分／5分／6分／10分／15分／20分／30分／1時間／1.5時間／2時間／3時間／4時間／6時間／12時間／24時間
⑥	[解像度]	送信する画像の解像度をQVGA／VGAのどちらかに設定します。
	<u>VGA</u>	QVGA／VGA
⑦	[設定] ボタン	設定した場合は、必ずクリックします。

## ■スケジュール設定

項番	項目	内容
⑧	[スケジュール1,2,3]	スケジュール1,2,3の曜日・時間をそれぞれ設定します。 月／火／水／木／金／土／日／24時間／00:00～00:00
⑨	[設定] ボタン	設定した場合は、必ずクリックします。

# ネットワークの設定（つづき）

## FTP定期送信スケジュールを設定する

ネットワーク設定ページの [FTP定期] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ）

ここでは、FTPサーバーへ画像を定期送信するスケジュールを設定します。

定期送信の設定については、73ページをお読みください。

### スケジュールの設定方法

- 1 [スケジュール設定] で、スケジュールを適用する曜日にチェックマークを入れる
- 2 時間を指定するには [√] をクリックして時間を指定する
  - 時間帯を指定しない場合は、「24時間」にチェックマークを入れます。
- 3 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックする
  - 画面下に設定した内容でグラフ表示します。



### スケジュールの削除方法

- 1 スケジュールを削除する曜日のチェックマークを外す
- 2 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックする
  - 画面下に設定した内容でグラフ表示します。

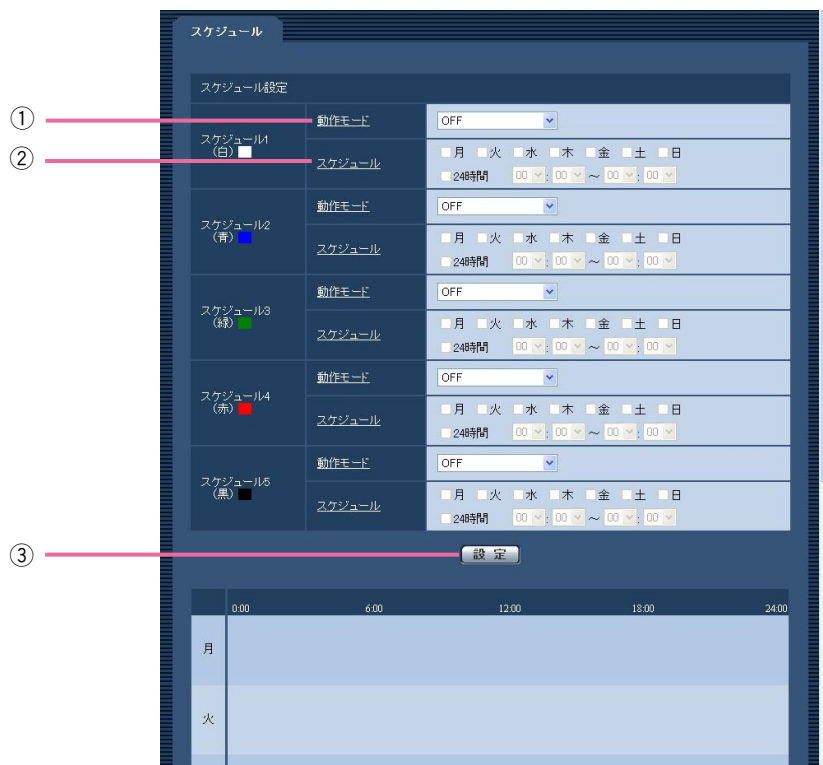


# スケジュールの設定

スケジュール設定ページでは、アラーム入力許可、VMD検出許可、画像公開許可、ポジションリフレッシュ、プリセットポジション要求のスケジュール設定をします。

## スケジュールを設定する [スケジュール]

スケジュール設定ページの [スケジュール] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)  
スケジュールは、最大5個まで設定できます。



(下線部は初期設定です)

項番	項目	内容
①	動作モード	スケジュールの動作を選択します。
	<u>OFF</u>	スケジュール動作を行いません。
	アラーム入力許可	スケジュール設定されている間、端子アラーム1、端子アラーム2、端子アラーム3のアラーム入力を許可します。
	VMD検出許可	スケジュール設定されている間、VMD検出を許可します。
	画像公開許可	スケジュール設定されている間は、[ユーザー認証] タブ (☞64ページ) で設定したアクセスレベル2、3のユーザーからの画像閲覧を許可します。
	ポジションリフレッシュ 1~256	スケジュール設定された時間になると、ポジションリフレッシュを行います。 スケジュール設定された時間になると、あらかじめ登録されているプリセットポジションから選択したポジションに移動します。
②	[スケジュール]	スケジュールの曜日・時間をそれぞれ設定します。 月/火/水/木/金/土/日/24時間/00:00~00:00
③	[設定] ボタン	設定した場合は、必ずクリックします。



# スケジュールの設定（つづき）

## メモ

- 「画像公開許可」で使用する場合は、[ユーザー認証] タブの「ユーザー認証」（63ページ）を「ON」に、[ホスト認証] タブの「ホスト認証」（65ページ）を「OFF」に設定してください。
- ポジションリフレッシュを設定する場合は、あわせてセルフリターン（25ページ）を設定することをお勧めします。
- スケジュール1～スケジュール5に表示されている色は、画面下のスケジュール欄に表示される線の色を表しています。

## スケジュールの設定方法

- 1 [動作モード] で、スケジュールの動作を選択する
- 2 曜日を指定するには、曜日ボックス（月火水木金土日）にチェックマークを入れる
- 3 時間を指定するには、[V] をクリックして時間を指定する
- 4 時間帯を指定しない場合は、「24時間」にチェックマークを入れる
- 5 設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックする
  - 画面下に設定した内容でグラフ表示します。



# メンテナンス

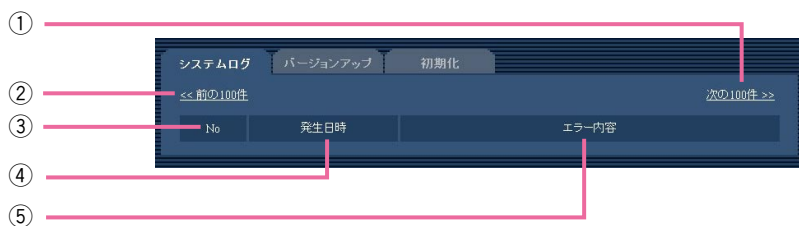
メンテナンスページでは、システムログの確認、ソフトウェアのバージョンアップ、設定の初期化、および本機を再起動します。

メンテナンスページは、[システムログ] タブ、[バージョンアップ] タブ、[初期化] タブで構成されています。

## システムログを確認する [システムログ]

メンテナンスページの [システムログ] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)

システムログは100件ずつ表示し、保存するシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから順に上書きします。



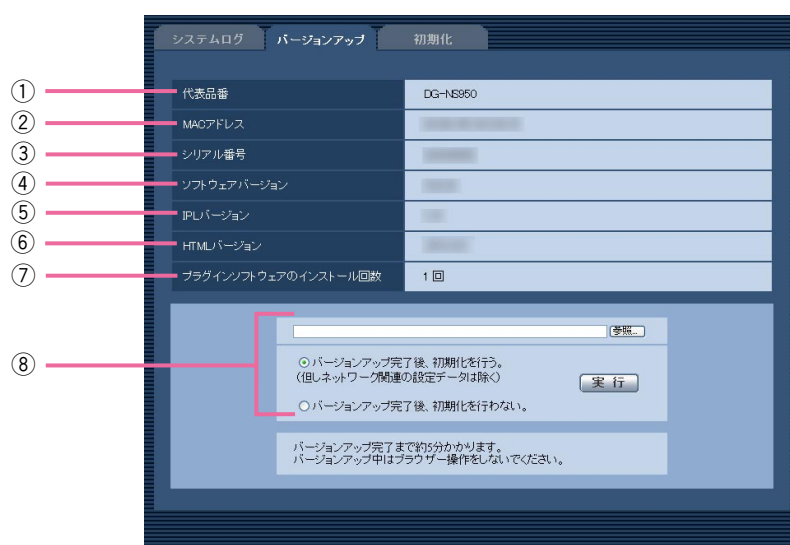
項番	項目	内容
①	[<<次の100件] ボタン	表示しているシステムログ一覧の次の100件を表示します。
②	[<<前の100件] ボタン	表示しているシステムログ一覧の前の100件を表示します。
③	[No]	システムログの通し番号を表示します。
④	[発生日時]	ログの発生日時を表示します。 <hr/> <b>メモ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• [時刻表示形式] (☞8ページ) を「OFF」に設定している場合は、ログの発生日時を24時間形式で表示します。</li></ul> <hr/>
⑤	[エラー内容]	システムログの内容を一覧表示します。各システムログの内容については、84ページをお読みください。

### メモ

- 基本設定ページの [SDメモリーカード] タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定 (☞12ページ) した場合は、SDメモリーカード内に最大4 000件のシステムログを保存します。
- 「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大100件までシステムログを保存します。
- SDメモリーカードを使用した場合は、カメラの電源を切ってもログを保存します。SDメモリーカードを使用しない場合は、カメラの電源を切るとログを消去します。

## ソフトウェアをバージョンアップする [バージョンアップ]

メンテナンスページの [バージョンアップ] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)  
 ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアをバージョンアップします。バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



項番	項目	内容
①	[代表品番]	本機の代表品番を表示します。
②	[MACアドレス]	本機のMACアドレスを表示します。
③	[シリアル番号]	本機のシリアル番号を表示します。
④	[ソフトウェアバージョン]	ソフトウェアのバージョンを表示します。
⑤	[IPLバージョン]	IPL [起動プログラム] のバージョンを表示します。
⑥	[HTMLバージョン]	本機のHTMLのバージョンを表示します。
⑦	[プラグインソフトウェアのインストール回数]	プラグインソフトウェアのインストール回数を表示します。
⑧	[ファイル名]	バージョンアップするファイル名を入力します。[参照] ボタンをクリックし、ファイル選択ダイアログでファイルを選択します。
	[参照] ボタン	ファイル選択ダイアログを表示します。
	[バージョンアップ完了後、初期化を行う]	バージョンアップ完了後、初期化する場合に、チェックを入れます。
	[バージョンアップ完了後、初期化を行わない]	バージョンアップ完了後、初期化しない場合に、チェックを入れます。
	[実行] ボタン	バージョンアップを実行します。

# メンテナンス（つづき）

## ソフトウェアのバージョンアップ方法

- 1 お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードする

### !!重要!!

- 保存ディレクトリーは、半角英数字で指定してください。

- 2 [参照] ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定する

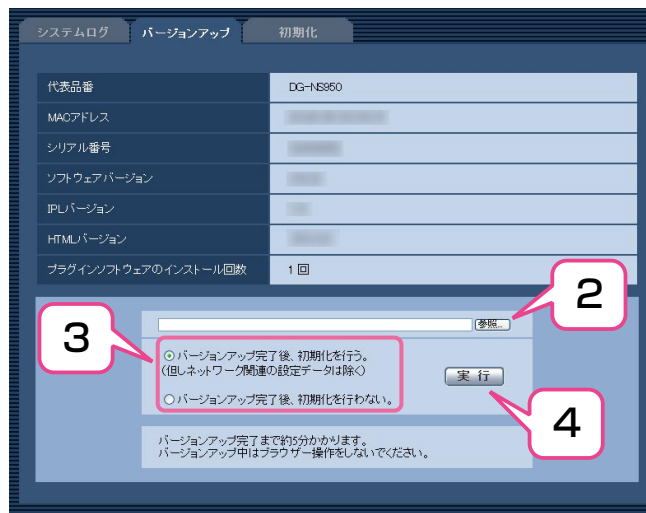
- 3 ラジオボタンをクリックして、バージョンアップが完了したらデータを初期化するかどうかを選択する

### メモ

- 初期化するかどうかは、ソフトウェア付属のReadmeをお読みください。

- 4 [実行] ボタンをクリックする

- バージョンアップの実行とデータ初期化の確認画面を表示します。
- バージョンアップ完了後にデータを初期化しない場合は、確認画面を表示しません。バージョンアップが完了したら、必ずインターネット一時ファイルを削除してください。



### !!重要!!

- バージョンアップする場合は、本機と同じサブネット内にあるPCを使用してください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認ください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定のimgファイルを使用してください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、必ず「ns950\_xxxxx.img」（DG-NW960の場合も同様）というファイル名で保存してください。  
※「xxxxx」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は、ウェブブラウザ画面で操作しないでください。
- 以下の設定データは「バージョンアップ完了後、初期化を行う」を選択した場合でも初期化しません。  
DHCPのON/OFF、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 本機を初期化・再起動する [初期化]

メンテナンスページの [初期化] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：5、6ページ)  
 ここでは、本機の設定データ、HTMLの初期化、および本機を再起動します。



項番	項目	内容
①	[設定データ初期化]	[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容とプリセットポジションの設定内容は初期化しません。
②	[HTML初期化]	[実行] ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。
③	[設定データ/HTML初期化]	[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルを初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容とプリセットポジションの設定内容は初期化しません。
④	[カメラの再起動]	[実行] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。
⑤	[ポジションリフレッシュ]	本機のポジションをリフレッシュします。本機を使用中にホームポジション、プリセットポジションに設定された位置からカメラの向きがずれた場合に、位置を補正できます。

### メモ

- 初期化、再起動、またはポジションリフレッシュしたあとに、操作を開始するまでには約2分間お待ちください。
- ネットワークの設定内容 (☞68ページ) を初期化する場合は、本機のDIPスイッチで行います (☞取扱説明書 基本編)。
- 通知機能を使用すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、ロックされているなどのエラーが起こると、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。(☞59、61ページ)

# ネットワークセキュリティ

## 本機に装備しているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能を用意しています。

①ユーザー認証／ホスト認証アクセスの制限（認証設定ページ）

ユーザー認証／ホスト認証の設定を「ON」にすると、本機にアクセスするユーザーおよびPCを制限します。  
(☞63ページ)

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限（ネットワーク設定ページ）

HTTPポートのポート番号を変更することで、不正アクセスを防止します。(☞69ページ)

---

### メモ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、本機にアクセスできなくなります。しばらくしてからアクセスしてください。

### !!重要!!

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセスを制限するなどの対策を実施してください。

# ヘルプを見る

操作方法、設定方法を画面上で知りたい場合は、ヘルプ画面をお読みください。

## ヘルプ画面を表示する

### ●設定画面

#### 1 【設定】 ボタンをクリックする

- 設定画面を表示します。

下線のある項目をクリックしても、ヘルプ画面がポップアップ表示されます。  
ヘルプ画面を表示したまま設定することができます。

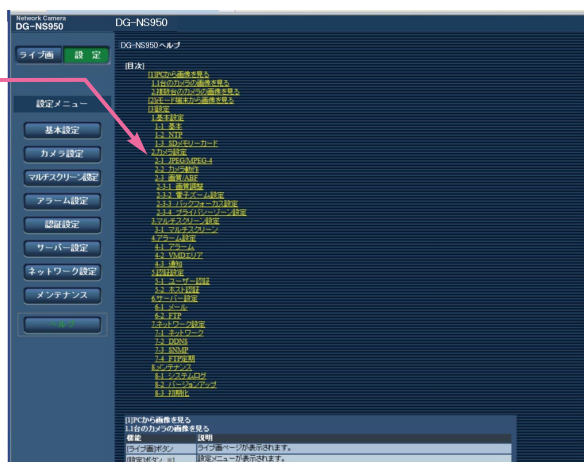


#### 2 【ヘルプ】 ボタンをクリックする

- ヘルプ画面を表示します。

知りたい項目をクリックすると、該当する操作の説明を表示します。

### ●ヘルプ画面



# システムログ表示について

## SMTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none"><li>サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。</li><li>POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。</li></ul>
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none"><li>DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。</li><li>DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。</li></ul>
	SMTPサーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none"><li>サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。</li><li>SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。</li></ul>
内部エラー	その他のエラー	メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

## FTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none"><li>FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。</li><li>サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。</li></ul>
	FTPサーバー見つからず	
接続エラー	転送エラー	
	Passiveモードでのエラー	<ul style="list-style-type: none"><li>FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。</li></ul>
	ログアウト失敗	<ul style="list-style-type: none"><li>各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。</li></ul>
	ディレクトリー変更に失敗	
	ユーザー名パスワードエラー	
内部エラー	その他のエラー	FTP機能で問題が発生しています。FTP設定を再確認してください。



# システムログ表示について（つづき）

## DDNSに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none"><li>・ DDNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。</li><li>・ DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。</li></ul>
	ユーザー名パスワードエラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	DDNSサーバーでIPアドレスアップデートエラーが起きました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

## NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none"><li>・ サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。</li><li>・ NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。</li></ul>
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none"><li>・ DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。</li><li>・ DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。</li></ul>
NTPによる時刻同期成功	時刻自動補正しました	時刻修正が成功しました。

## ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	ユーザー名またはIPアドレス	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。</li><li>・ ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。</li></ul>

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>ブラウザからアクセスできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワークコネクタにカテゴリ5のケーブルは接続されていますか？</li> </ul>	<p>取扱説明書 基本編</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リンクLED（DG-NS950：ネットワーク端子横、DG-NW960：本体内部）は点灯していますか？ 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。</li> </ul>	<p>取扱説明書 基本編</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の電源は入っていますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。</li> </ul>	<p>取扱説明書 基本編</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？</li> </ul>	<p>68</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで     &gt; ping 「本機に設定したIPアドレス」 で、DG-NS950（DG-NW960）からReplyが返ってくれば、本機は正常に動作しています。 Replyが返ってこない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。 ・ 本機を再起動し、20分以内にIP簡単設定ソフトを使って、IPアドレスを変更する。 ・ ディップスイッチにより、本機を再起動して初期化を行い、IPアドレスを「192.168.0.10」に戻す。 その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定する（このとき、本機の設定データはすべて初期化されます）。</li> </ul>	<p>—  取扱説明書 基本編</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● -10℃以下の環境で設置・使用開始すると、起動直後は正常な画像が得られない場合があります。この場合、カメラが暖まるのを待ってから（約2時間以上）再度、電源を入れ直してください。 特に屋外寒冷地で本機を使用しているときは、電源を入れ直してから「通信速度」を「AUTO」に設定することをおすすめします。</li> </ul>	<p>69、 取扱説明書 基本編</p>	

(次ページへ続く)

# 故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>ブラウザからアクセスできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ [同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合] 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 [本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合] 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていないですか？</li> </ul>	<p>—</p>
<p>SDメモリーカードの画像取得ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク設定ページの「カメラへのFTPアクセス」が「許可」に設定されていますか？ 「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。</li> </ul>	<p>69</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パスワードを間違えて入力していませんか？ ウェブブラウザを再起動してからパスワードを入力し直してください。</li> </ul>	<p>16</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SDメモリーカードに接続できなくなることがあります。ウェブブラウザを再起動してから、再度画像取得を実行してください。</li> </ul>	<p>—</p>
<p>画像が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。</li> </ul>	<p>10、取扱説明書基本編</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DirectX®のバージョンは9.0c以上ですか？ 以下の手順でDirectX®のバージョンを確認してください。 (1) PCのスタートメニューから [ファイルを指定して実行] を選択する。 (2) 「dxdiag」と入力し、[OK] ボタンをクリックする。 バージョンが9.0cよりも低い場合は、Microsoft社のホームページから最新のDirectX®を入手してください。</li> </ul>	<p>—</p>

## 故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
画像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カメラのドーム部にごみやほこりが付着していませんか？ カメラのドーム部にごみやほこりが付着していないか確認してください。</li> </ul>	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フォーカスは正しく調節されていますか？ [フォーカス] ボタンを押して調節してください。</li> </ul>	取扱説明書 操作編
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機使用中にフォーカスがずれた場合は、ポジションリフレッシュを行うと位置が補正されます。</li> </ul>	81
画像にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スリップリングが汚れている可能性があります。ポジションリフレッシュを行ってください。 スケジュール機能でポジションリフレッシュを設定し、定期的にスリップリングのクリーニングを行うことをお勧めします。</li> </ul>	81
画像が更新されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ご使用のウェブブラウザやバージョンによっては、画像が更新されなかったり、カメラ制御などの操作に不具合が発生したりする場合があります。 Microsoft® Internet Explorer® 6.0 SP2日本語版のご使用をお勧めします。</li> </ul>	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。[F5] キーを押すなどして、画像の取得要求を行ってください。</li> </ul>	—
プリセットポジションがずれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機使用中に設定したポジション位置からカメラの向きがずれた場合、ポジションリフレッシュを実行すると位置が補正されます。スケジュール機能でポジションリフレッシュを設定すると、定期的にカメラの向きのずれを補正することができます。</li> </ul>	76、81
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部品が消耗していませんか？ 駆動部品の消耗が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。</li> </ul>	—

## 故障かな!? (つづき)

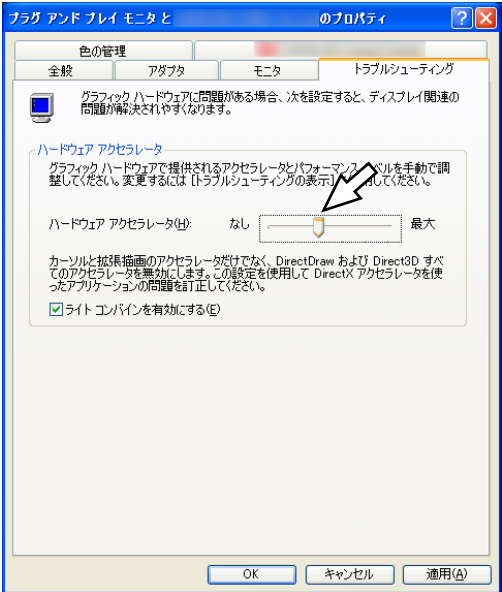
症 状	原因・対策	参照ページ
カメラを水平方向に向けると画面の上側が隠れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●異常ではありません。インナーカバーが映りこんでいるためです。チルト範囲指定で角度制限をすることによって軽減することができます。</li> </ul>	27、取扱説明書基本編
電源投入時、元のポジションに戻らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機のポジションを電源投入前の状態に戻したい場合は、そのポジションをホームポジションに登録し、セルフリターンで戻るように設定してください。</li> </ul>	25
カメラ画像が出ない(暗い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。</li> </ul>	取扱説明書操作編
画像が白っぽい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。</li> </ul>	取扱説明書操作編
画像の焦点が合わない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドーム部が汚れていませんか？ドーム部の汚れを落としてください。</li> </ul>	取扱説明書基本編
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オートフォーカスでピントが合いにくい被写体を写していませんか？手動操作でピントを合わせてください。</li> </ul>	取扱説明書操作編
画像がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ちらつきがきになる場合は、「シャッター速度」を「AUTO」または「1/100」に設定してください。</li> </ul>	30
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「スーパーダイナミックⅢ」が「ON」に設定されていませんか？「OFF」に設定してください。</li> </ul>	29
SDメモリーカードに画像が保存されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？正しく取り付けられているか、確認してください。</li> </ul>	取扱説明書基本編
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SDメモリーカードはフォーマットされていますか？SDメモリーカードをフォーマットしてください。</li> </ul>	14

(次ページへ続く)

## 故障かな!?(つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
SDメモリーカードに 画像が保存されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？ 「LOCK」になっている場合は、[SDメモリーカード] タブの「SDメモリーカード」に「*****KB/*****KB」と表示されます。</li> </ul>	-
カメラの動作モード (OFF、ホームポジション、自動追従、オートパン、プリセットシーケンス) が変化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>セルフリターン機能を確認してください。</li> </ul>	25
音声の送話ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイクとスピーカーが正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか確認してください。</li> </ul>	取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> <li>表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」がインストールされているか確認してください。</li> </ul>	10、 取扱説明書 基本編
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全画面で表示していませんか？ 全画面表示中は、送話はできません。</li> </ul>	取扱説明書 操作編
ライブ画ページで [アラーム発生通知] ボタン、[受話] ボタン、[送話] ボタン、[AUX] ボタン、SD保存状態表示がリアルタイムに表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View3」がインストールされているか確認してください。</li> </ul>	10、 取扱説明書 基本編

# 故障かな!?(つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
ライブ画ページの画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>●PCのキーボードの [F5] キーを押すか、[ライブ画] ボタンをクリックしてください。</li></ul>	取扱説明書 操作編
複数のブラウザを起動してMPEG-4画像を表示したとき、1つのブラウザに複数のカメラ画像が切り換わり表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>●PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。ここでは、Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版を例に説明します。<ol style="list-style-type: none"><li>(1) デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。</li><li>(2) 画面のプロパティ画面で「設定」タブをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリックします。</li><li>(3) 「トラブルシューティング」タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、DirectDrawのアクセラレータを無効にしてください。</li></ol></li></ul> 	—

## 故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>MPEG-4描画時にドラッグした枠が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ハードウェアアクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調整し、DirectDrawのアクセラレータを無効にすると、MPEG-4描画時にドラッグした枠が表示されません。</li> </ul>	<p>—</p>
<p>ログリストのダウンロードができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルのダウンロードが無効になっていませんか？ Internet Explorer®の「セキュリティの設定」画面（[インターネットオプション] - [セキュリティ]）にて「ファイルのダウンロード」と「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を有効にしてください。</li> </ul>	<p>—</p>
<p>画像がうまく更新されない、表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。               <ol style="list-style-type: none"> <li>Internet Explorer®で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。</li> <li>「インターネット一時ファイル」の [ファイルの削除] ボタンをクリックする。</li> </ol> </li> </ul>	<p>—</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能により本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。</li> </ul>	<p>—</p>

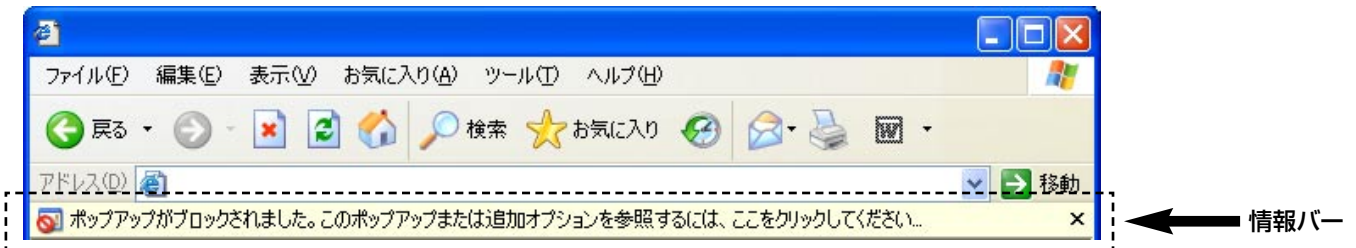


# 故障かな!?(つづき)

## Windows® XP Service Pack2をインストールしてお使いになる場合

Windows®XP SP2を適用してお使いの場合に、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下を及ぼすことはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorer®のアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。

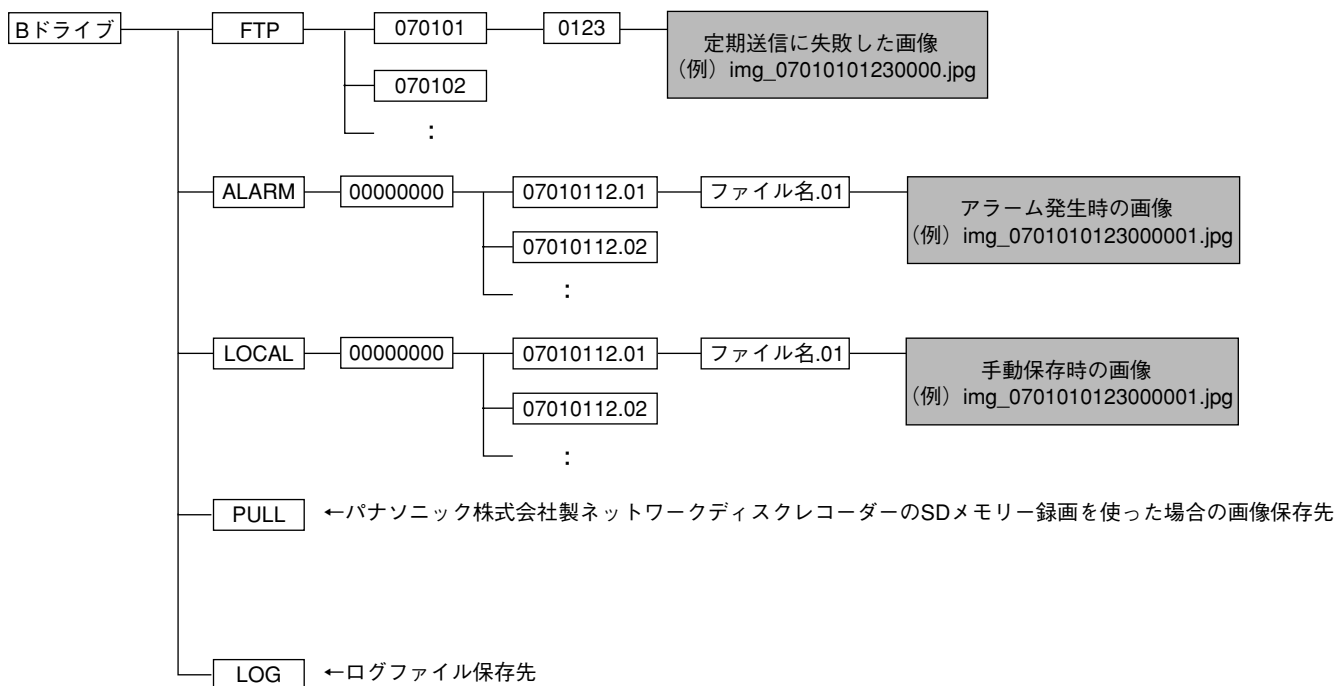


症 状	対応方法	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される。 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」	<ul style="list-style-type: none"><li>● 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか?画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。</li></ul>	-
下記メッセージの情報バーが表示される。 「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります:'Panasonic Corporation'からの'nwcv3setup.exeインストールするには、ここをクリックしてください...」	<ul style="list-style-type: none"><li>● 情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)] ボタンをクリックしてください。</li></ul>	-

## 故障かな!?(つづき)

症 状	対応方法	参照ページ
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>● Internet Explorer®のセキュリティの設定画面を開き、[インターネット] を選択します。[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。</li></ul>	—

# Bドライブのディレクトリー構造について



# ルーターの設定例

本機のMPEG-4はUDPプロトコルを使用して通信しています。

ルーターを使用してMPEG-4の画像を見るためには、下記のようにカメラとPCそれぞれに接続されているルーターの設定（UDPポート設定）を行う必要があります。

## STEP1

本機のMPEG-4設定を以下のように設定します。

- ① 配信方式：ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）
- ② ユニキャストポート番号1（画像）：32004
- ③ ユニキャストポート番号2（音声）：33004

## STEP2

カメラに接続されているルーター①を以下のように設定します。

アドレス変換テーブル

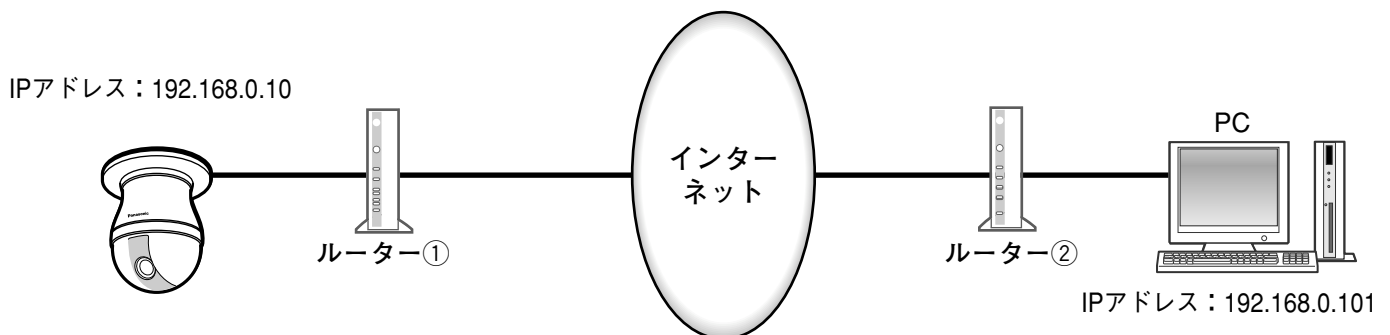
グループ	LAN側IPアドレス	LAN側ポート		WAN側IPアドレス	プロトコル
カメラ	192.168.0.10	TCPポート：80	<---->	ルーターのWAN側IPアドレス	HTTP（TCPポート：80）
	192.168.0.10	UDPポート：32004	<---->	ルーターのWAN側IPアドレス	UDPポート：32004
	192.168.0.10	UDPポート：33004	<---->	ルーターのWAN側IPアドレス	UDPポート：33004

## STEP3

PCに接続されているルーター②を以下のように設定します。

アドレス変換テーブル※

グループ	WAN側IPアドレス	プロトコル		LAN側IPアドレス	LAN側ポート
PC	ルーターのWAN側IPアドレス	UDPポート：33004	<---->	192.168.0.101	UDPポート：33004
	ルーターのWAN側IPアドレス	UDPポート：32004	<---->	192.168.0.101	UDPポート：32004



※アドレス変換テーブルは、代表的なルーターを用いた場合の例です。

ルーターによっては、「静的IPマスカレード」など異なる名称で呼ばれる場合があります。

# 用語集

## <アルファベット・数字>

### ActiveX (コントロール)

Microsoft社が開発したソフトウェアの部品化技術です。インターネットやイントラネットを通じてウェブサーバーからダウンロードされ、Internet Explorer®に機能を追加する形で使用されます。本ネットワークカメラでは、動画を表示するために使用しています。

### DDNS (Dynamic DNS)

DNSサーバー情報を自動的に書き替え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。

### DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

PCがネットワークに接続する際に必要な情報をサーバーから自動的に取得するためのプロトコルです。

### DNS (Domain Name System)

ネットワーク環境上で使用されるIPアドレスは、覚えにくく実用的ではありません。このため、PCにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけ、それをIPアドレスに変換して通信を行います。このドメイン名とIPアドレスを対応させるしくみです。

### fps (Frame Per Second)

1秒間に表示できる画像の枚数を示します。動画のなめらかさを表します。

### FTP (File Transfer Protocol)

ネットワークでファイルを転送するときに使われる代表的なプロトコルです。

### IPアドレス (Internet Protocol Address)

インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたPCや通信機器1台1台に割り振られた識別番号のことです。特にインターネット上ではこの数値に重複がないように割り振っておく必要があります。

### IPマスカレード (Network Address Port Translation, IP masquerade)

1つのグローバルアドレスを複数のPCで共有する技術です。NATと異なりTCP/UDPのポート番号まで動的に変換されるため、1つのグローバルアドレスで複数のPCから同時に接続できます。

### LAN (Local Area Network)

同じ建物の中やフロア内、キャンパスなど比較的狭い地域にあるPCやプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

### MACアドレス (Media Access Control address)

ネットワーク機器に割り付けられる固有の物理アドレスです。これを元に機器間のデータの送受信が行われます。

### JPEG (Joint Photographic Experts Group)

静止画データの圧縮方式の1つです。連続的にJPEG画像を送信する動画方式は、Motion JPEGと表現される場合があります。

### MPEG-4 (Moving Picture Experts Group phase 4)

動画データの圧縮方式の1つです。

### NAT (Network Address Translation)

1つのグローバルアドレスを複数のPCで共有する技術です。

### NTP (Network Time Protocol)

ネットワークに接続された機器の内部時計を正しく調整するプロトコルです。

### POP(3) (Post Office Protocol Version 3)

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するためのプロトコルです。

### QVGA

320×240ピクセルの解像度のことです。

### SDメモリーカード (Secure Digital memory card)

小型・軽量で、大きな記憶容量を持つ、着脱可能な外部メモリーカードです。

### SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールのやり取りをしたり、クライアントがサーバーにメールを送信するときに使われます。

### SMTPサーバー (SMTP server)

現在もっとも普及しているメール送信プロトコルであるSMTPに対応しているサーバーです。

### SMTP認証

#### (Simple Mail Transfer Protocol Authentication)

メール送信に使うプロトコルであるSMTPにユーザー認証機能を追加した仕様です。SMTPサーバーとクライアントとの間でユーザーアカウントとパスワードの認証を行います。このため、SMTPサーバーとクライアントの双方がSMTP認証対応していなければなりません。

# 用語集 (つづき)

## SNMP (Simple Network Management Protocol)

ルーターやPC、カメラ、ネットワークディスクレコーダーなど、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

## TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

インターネットやイントラネットで標準的に使われるプロトコルです。

## URL (Uniform Resource Locator)

インターネット上にある文書や画像などの情報資源のある場所を指し示す記述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

## VGA (Video Graphics Array)

640×480ピクセルの解像度のことです。

## VPN (Virtual Private Network)

公衆回線を専用回線のように利用できるサービスです。コストのかかる専用回線の代替になる新しい通信として企業を中心に浸透しています。認証技術や暗号化を用いて保護された回線を提供するサービスもあります。

## WAN (Wide Area Network)

電話回線や専用線を使って、本社一支社間など地理的に離れた地点にあるPC同士を接続し、データをやり取りすることをいいます。

## <あ>

## インターネット (internet)

全世界のネットワークを相互に接続した巨大なパコンネットワークです。インターネットに参加するには、インターネットサービスプロバイダーと呼ばれる業者と契約する必要があります。

## ウェブブラウザ (web browser)

Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。Microsoft社のInternet Explorer®などがあります。

## <か>

## (デフォルト) ゲートウェイ (gateway)

組織内のLANなどのネットワークから外部のネットワークのPCへアクセスするために使用する窓口となるネットワーク機器のことです。

## グローバル (IP) アドレス (global address)

インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIPアドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。これに対し、組織内のネットワークで自由に割り振ることができるプライベート (IP) アドレスがあります。

## ケーブルモデム

インターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと呼びます。シリアルポートを使う通常のモデムとは異なり、PCとはイーサネットを通じて接続します。

## <さ>

## サブネット (subnet)

大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。大企業などではネットワーク管理や回線の分配を効率よく行うために、ネットワークをいくつかの小さな単位に分割して管理場合があります。このような場合に、管理単位となる小さなネットワークをサブネットといいます。

## サブネットマスク (subnet mask)

サブネット内のIPアドレスのうち何ビットをネットワークを識別するためのネットワークアドレスに使用するかを定義する32ビットの数値です。ネットワークアドレス以外の部分が、サブネット内のPCを識別するホストアドレスと呼ばれます。

## セカンダリー (DNS) サーバー (secondary DNS server)

DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの副系統 (サブ) のサーバーです。主系統 (プライマリ) のサーバーにトラブルが発生した時などに処理を肩代わりします。

## 全二重 (full duplex)

双方向通信で、独立した送信回線と受信回線を用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。

## <た>

## タイムゾーン

共通で (地方) 標準時を使うある国や地域全体をタイムゾーンといいます。

# 用語集 (つづき)

## <は>

### 半二重 (half duplex)

双方向通信で、1つの通信回線を使用して、送信と受信を切り換えながら通信する方式のことです。

### ビットレート (bit rate)

単位時間あたりに何ビットのデータが処理または送受信されるかを表します。単位としては一般的に「ビット毎秒」(bps : bits per second)が使われます。映像データや音声データがどのくらいの圧縮をしているかを表したり、通信回線が1秒間にどのくらいのデータを送受信できるかを表したりするのに使います。

### ファイアウォール (firewall)

インターネットなどの外部のネットワークを利用する際のセキュリティの1つで、組織内のネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステムやそのようなシステムが組みこまれたPCです。

### プライベート (IP) アドレス (private address)

主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベート (IP) アドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることができます。ただし、プライベート (IP) アドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバル (IP) アドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

### プライマリー (DNS) サーバー (primary DNS server)

DNSサーバーは通常2系統以上用意することになっており、そのうちの主系統 (メイン) のサーバーです。

### プラグインソフトウェア

アプリケーションソフトウェアに機能を追加するためのプログラムです。

### フレームレート (frame rate)

1秒間に何回画面を書き替えることができるかを表す指標です。

### ブロードバンドルーター (broadband router)

ADSLや光ファイバーなど高速な回線でインターネットに接続する際に使うルーターです。

### プロキシサーバー (proxy server)

組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理 (プロキシ)」として、インターネットとの接続を行うPCやソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。

### プロトコル (protocol)

さまざまな情報を種類の異なる複数のPCなどでデータを交換する際の通信規約 (約束事) の集合です。インターネットでは「TCP/IP」などのプロトコルがあります。

### ポート番号 (port number)

インターネット上の通信 (TCP、UDPなど) で、複数の相手と同時に接続するために、IPアドレスの下に設けられたサブ (補助) アドレスです。

## <ま>

### マルチキャスト

ネットワーク内で、複数の相手を指定して同じデータを送信することです。

## <や>

### ユニキャスト

ネットワーク内で、1つのIPアドレスを指定して特定の相手にデータを送信することです。

## <ら>

### ルーター (router)


異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワーク宛であれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイワ

 **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

#### ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	DG-NS950,DG-NW960
	販売店名	電話（ ） —				

## パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号